SONY®

4-088-526-**12** (1)

トリニトロン®
カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KV-28DA55

目次

テレビの接続と準備

他機との接続

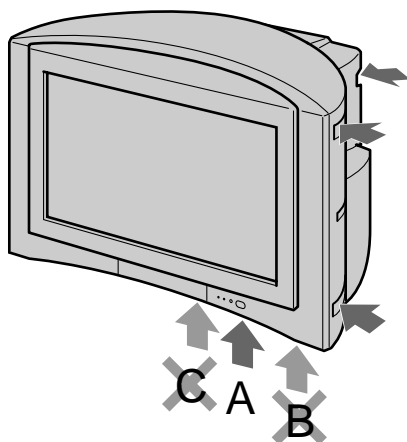
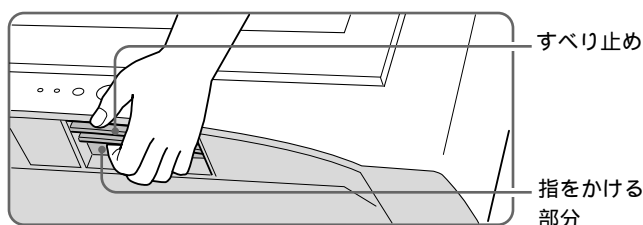
その他

ご使用になる前に

テレビを運ぶとき

テレビを持ち運ぶときは、下の図の矢印部分（⬆）を必ず持ってください。
それ以外の部分を持つと、設置時にテレビとスタンドの間に手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。

持つところは、下の図のように片側4か所ずつあります。
必ず2人以上で運んでください。
ブラウン管は、特に正面側が重いので、倒れないように充分注意してください。

テレビ前面部分を持つときは

必ず上の図のAの部分を持ってください。指先ですべり止めの位置を確認し、手のひらをすべり止めにあてて、しっかり持ってください。

テレビを真下から見たとき（正面右側）

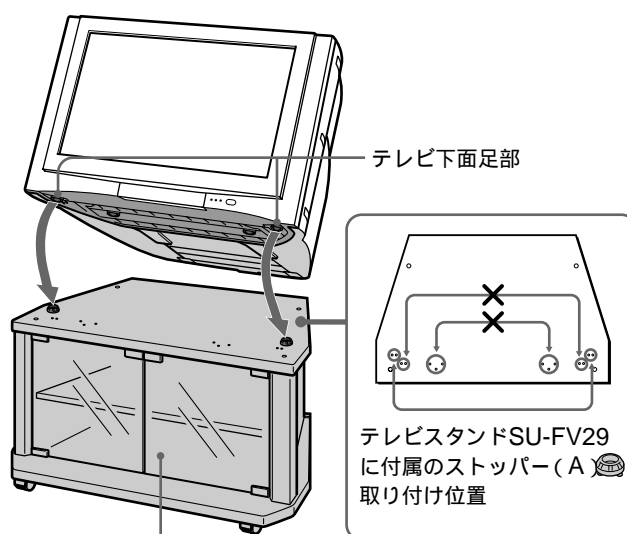
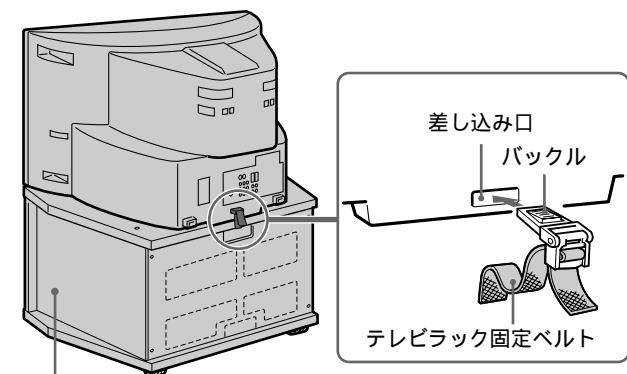
A以外の部分（Bや C）は、持たないでください。次のようなことがあり危険です。

- B 設置時にテレビと床やスタンドとの間で手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。
- C 扉がはずれることがあります。

テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドなどに載せたテレビに登ったり、テレビを押したりすると、テレビスタンドなどから、テレビが落ちる恐れがあります。
以下の方法に従って、テレビの転倒を防いでください。

専用のテレビスタンドを使うときは

① テレビスタンドのストッパーに、テレビ下面の足部を合わせて載せる。
専用テレビスタンド（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

② テレビスタンドに付属しているテレビラック固定ベルトのバックルを、テレビ後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込んでください。

テレビラック固定ベルトが付属している専用テレビスタンド（別売り）SU-FV29など

市販のテレビスタンドやラックを使うときは

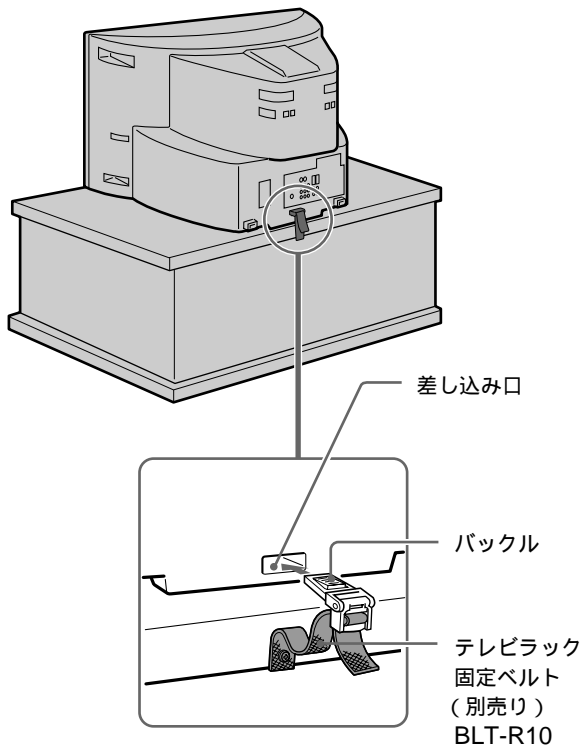
別売りのテレビラック固定ベルトBLT-R10で固定してください。

テレビラック固定ベルトのバックルを、テレビ後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込んでください。

市販のスタンドやラックに設置する場合は、テレビの底面よりも広くて水平なスタンドやラックをお使いください。また、耐重量や載せられるサイズも必ずご確認ください。

詳しくは、テレビやテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店に、ご相談ください。

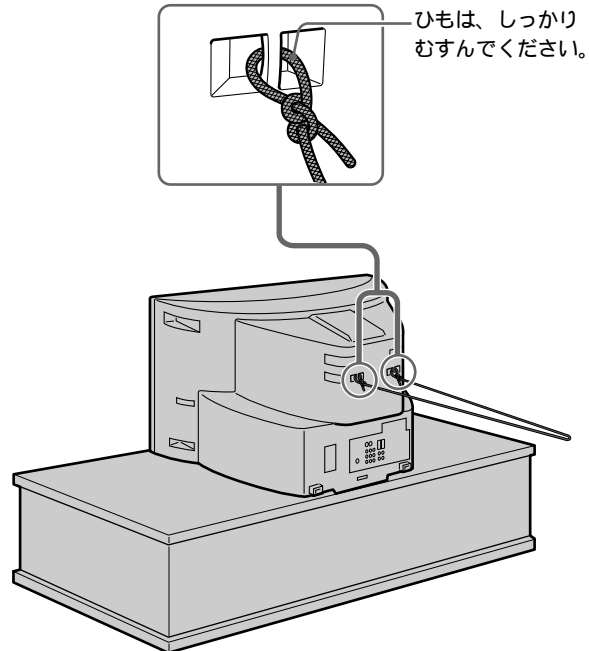
ご注意

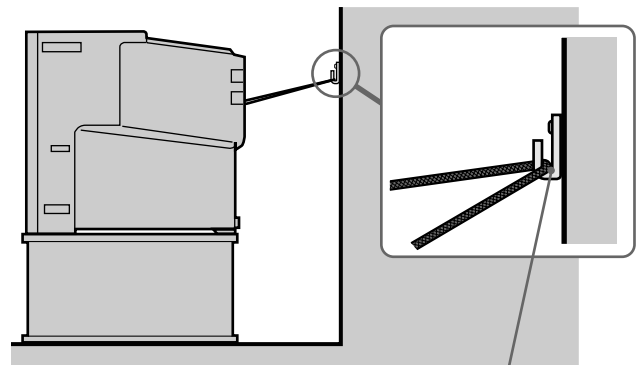
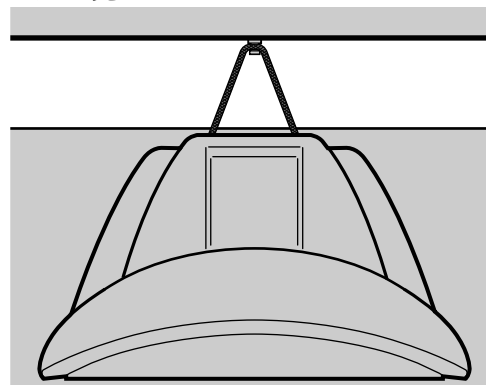
段差やデコボコ、うねりがある台に置かないでください。
キャビネットの変形やきしみの原因になり、テレビが破損することがあります。

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

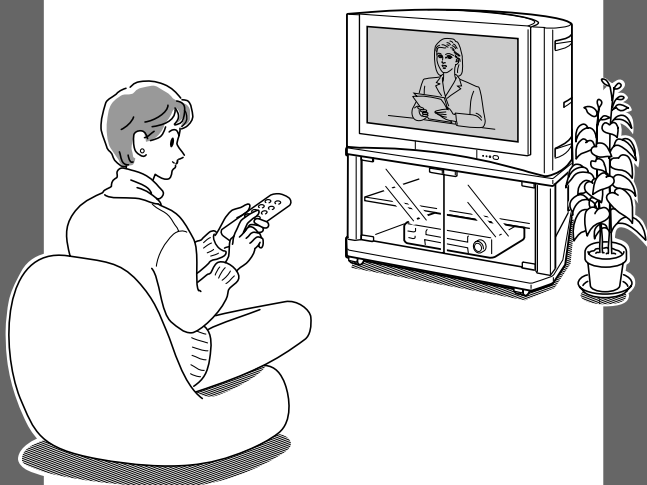
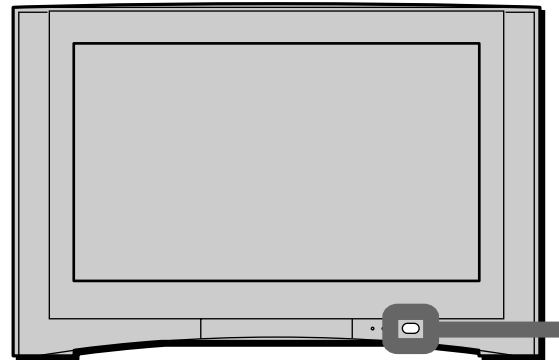
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。
また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

市販のひもやクサリなどで固定するときは

丈夫なひもやクサリなどを、テレビ後面の2つの穴に通して、壁や柱などに固定してください。
詳しくは、テレビやテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店に、ご相談ください。

① 丈夫なひもやクサリなどを、テレビ後面の穴に通して、しっかり付ける。

② 壁や柱などの安定した場所に、①で取り付けたひもやクサリなどを、しっかり固定する。

横から見たところ

上から見たところ

見る

ここでは、通常のテレビをはじめ、ビデオやDVDプレーヤー、テレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
映像に合った画質/音質に設定したり、節電しながら見たり、ワイド画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビを見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

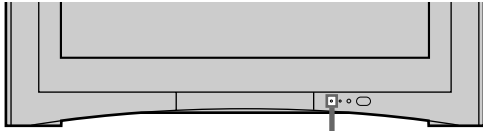
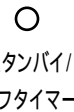
チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに置くと、10分程で光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル＋/ーボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
  放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。

❶ テレビの電源を入れる。

地磁気*などの影響を取り除く自動消磁機能により「ブーン」という音がして、きれいに安定した画像が約10秒前後で映ります。

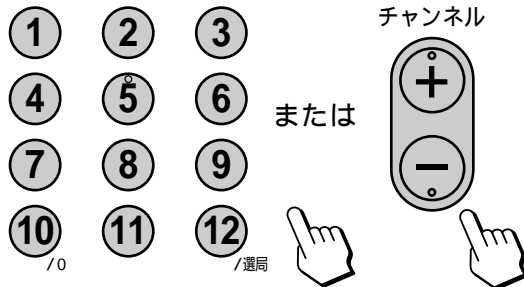
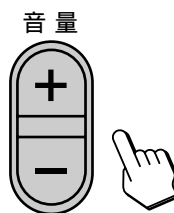
* 地球が一つの大きな磁石となって発生する磁場で、方位磁石が南北を示すのも地磁気によるものです。色むらの原因になることがあります。

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

❷ チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル＋/ーボタンでもチャンネルを選べます。

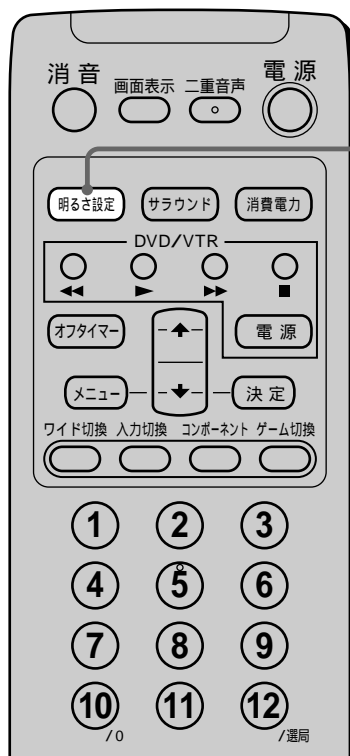
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 **または** チャンネル ＋ ー

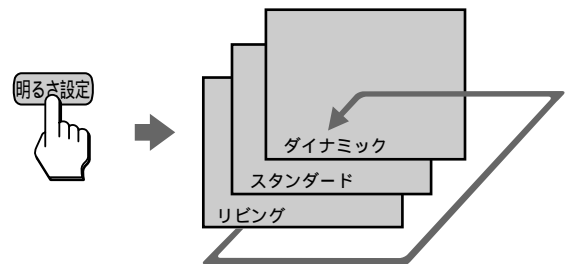
❸ 音量＋/ーボタンで音量を調節する。

音 量 ＋ ー

ちょっと一言
音量表示の上にある数値も調節の目安になります。

部屋の明るさに合った映像を選ぶ
[明るさ設定ボタン]

明るさ設定ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質が選べます。この画質設定は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*1に設定できます。また、「リビング」を選ぶと、画質をより細かく調整できます（☞20ページ）。

ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

*1 ただし、以下のときは共通になります。
- コンポーネント1（D端子）とコンポーネント2（D端子）のとき
- 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
- ゲーム切換ボタンで切り換えたAVマルチ（ゲーム）RGBとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRのとき

明るさ設定ボタンをくり返し押す。

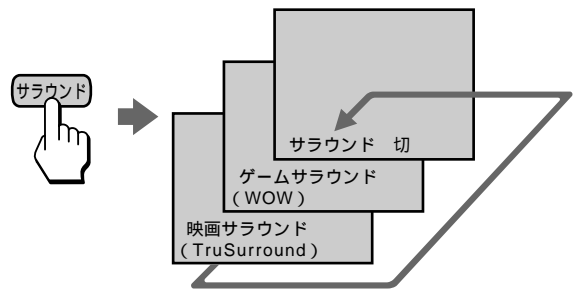
1回押すと、現在の明るさ設定が表示されます。その後、押すたびに次のように切り換わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを強調したメリハリの非常に効いた映像になります。

スタンダード
明るめの部屋で見るのに適したコントラストの映像になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます（☞20ページ）。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある映像になります。

サラウンドを楽しむ
[サラウンドボタン]

サラウンドボタンを押して、ゲームや映画に適した音質を選べます。
音質設定は各入力共通の設定になります。
通常の音質は「サラウンド　切」を選ぶことをおすすめします。

サラウンドボタンをくり返し押す。
1回押すと、現在の音質設定が表示されます。その後押すたびに、次のように切り換わります。

「ゲームサラウンド（WOW*2）」
WOWの搭載により、豊かで質の良い低音とクリアな高音が再現でき、更にサラウンド効果によってゲーム・センターのような立体的で大迫力のゲーム音になります。
「ゲームサラウンド」では、BBEハイディフィニションサウンドがフル作動して、サウンドエフェクトを最大限に盛り上げます。

「映画サラウンド（TruSurround*2）」
TruSurroundの搭載により、テレビの左右のスピーカーから映画館にいるような臨場感あふれる音を再現します。

*2 WOW、TruSurround、SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。WOW、TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

ご注意
- サラウンドボタンで「ゲームサラウンド（WOW）」や、「映画サラウンド（TruSurround）」を選ぶと、次にサラウンドボタンで音質を選び直すまで、同じ音質が選ばれたままになります。目的にあった音質を選ぶと、より効果的な音質を楽しめます。
- 「WOW」は米国SRS Labs社が独自に開発した最新技術を使うことにより、PCやゲーム機などの身の回りの多種多様な音響製品の音質を飛躍的に向上させます。
- 「TruSurround」とは独自の伝達関数を使った信号処理によって後方のスピーカーを仮想的に配置します。

節電しながら見る

[消費電力ボタン]

画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

消費電力ボタンを押す。

節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力：標準」と表示されます。

さらに節電するには

節電レベルの大小を選べます。
「消費電力：標準」のときは、設定できません。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「消費電力減レベル」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「小」（お買い上げ時の設定）または「大」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ちょっと一言

- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- 明るさ設定で「リビング」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます（☞20ページ）。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならない場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を楽しむ

自動でワイド画面にする［オートワイド］

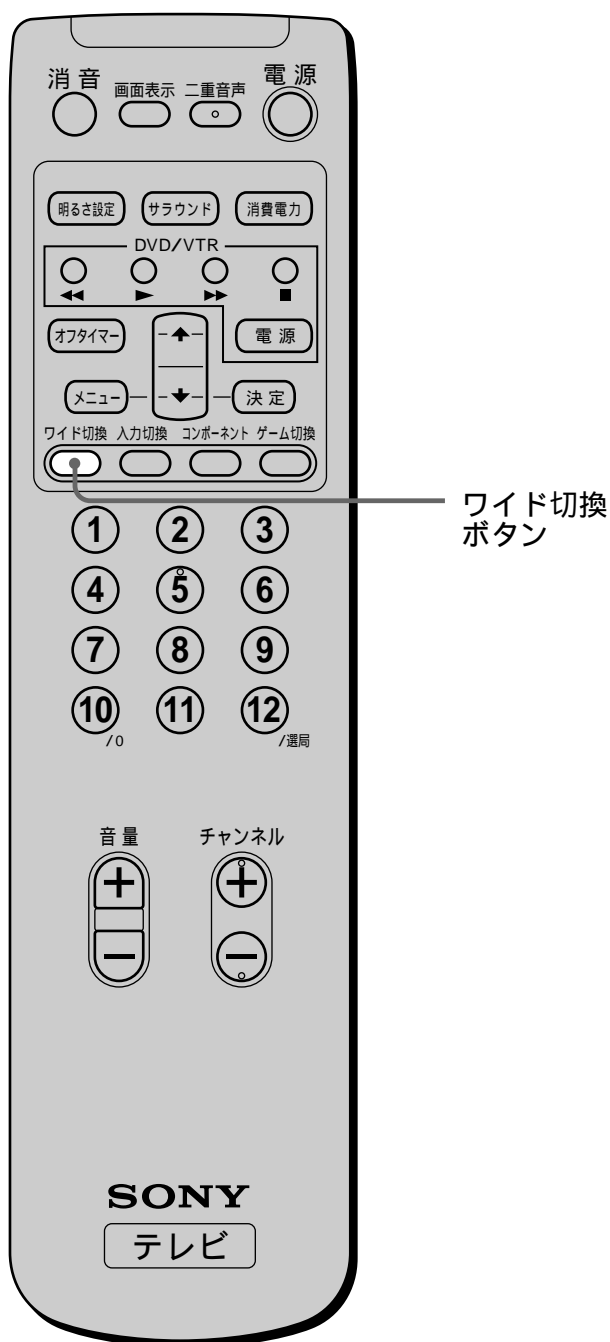
通常のテレビ放送も、映画などの横長サイズの映像も、下のイラストのように、テレビが最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

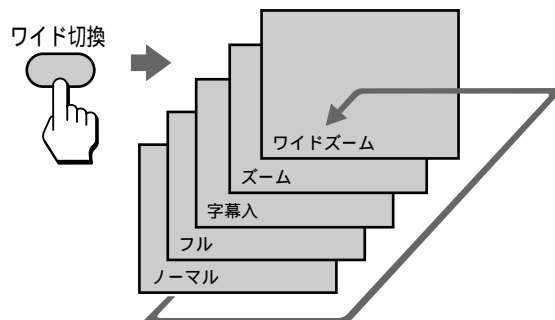
* お買い上げ時は、オートワイド「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています（☞11ページ）。ただし、「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」、「ゲーム」のときは、オートワイド「1」に設定されています。

オリジナルの映像（映像の種類）		画面モード	オートワイドの映像	
• **通常のテレビやBS放送（画面横縦比4:3）**				違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
• **ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1）** • **横縦比情報の入ったDVDソフトの映像（ID-1方式）**				画面の左右に合わせていっぱいに拡大します（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります）。
• **シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）**				画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
• **横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS1方式）**				天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
• **オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」（お買い上げ時は「ワイドズーム」）に設定したとき（☞17〜19ページ）**				拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

次のページにつづく

手動でワイド画面に切り換える [ワイド切換ボタン]

オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

ワイド切換ボタンをくり返し押す。

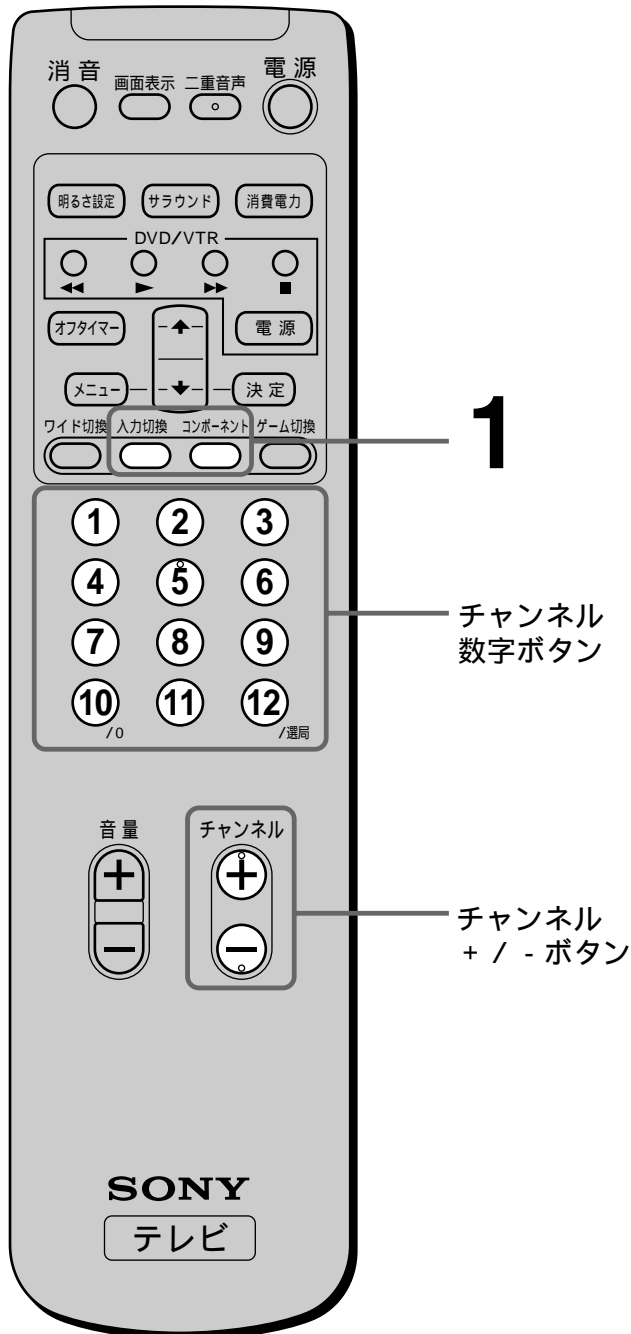
1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、テレビが最適な画面モードをすばやく選んで表示します*1。その後、押すたびに、次のように画面モードが切り換わります。画面モードの詳しい説明については、☞11ページをご覧ください。

*1 オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき（☞19ページ）は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま（「ノーマル」のまま）になります。

ちょっと一言

手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞19ページ）。

テレビにつないだ機器の画像を見る

[入力切換ボタン]

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器や DVDプレーヤー、地上・BS・110度CSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞35～45ページをご覧ください。

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画像を選ぶ。

ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
入力切換	● ビデオ1入力端子	ビデオ1*2 ↓
	● ゲーム/ビデオ2入力端子	ビデオ2*2 ↓
	● ビデオ3入力端子	ビデオ3*2 ↓
	● コンポーネント入力端子	コンポーネント1（D端子） ↓ コンポーネント2（D端子） ↓
	● AVマルチ入力（ゲーム）端子	AVマルチRGB ↓ AVマルチY/CB/CR ↓
		チャンネル番号（テレビ）（→ビデオ1に戻る）
コンポーネント	● コンポーネント1入力端子	コンポーネント1（D端子） ↕
	● コンポーネント2入力端子	コンポーネント2（D端子）

*2 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」、「Sビデオ3」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

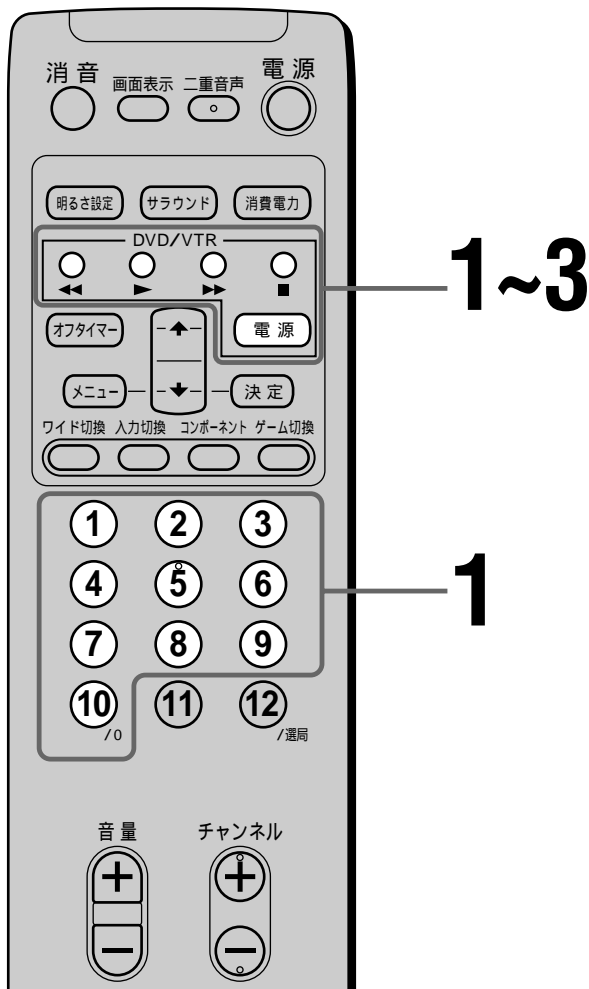
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 または チャンネル ＋ －

ちょっと一言

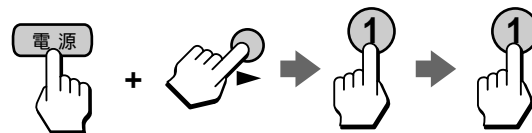
テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力を切り換えることもできます。

次のページにつづく

テレビのリモコンでビデオやDVDプレーヤーを操作する

DVDプレーヤーやVHS以外のソニー製ビデオ、他社製機器を操作するときは、その機器のメーカー登録番号を設定してください。
お買い上げ時の設定では、テレビのリモコンでソニー製VHSビデオの操作ができます（設定する必要はありません）。
設定や操作ができるのは1度に1つの機器のみです。

1 操作したい機器を設定する。

DVD/VTR電源ボタンを押したまま、▶▶ボタン（ビデオのとき）または▶ボタン（DVDプレーヤーのとき）を押し、メーカー登録番号を2桁続けて押す。

例）ソニー製DVDプレーヤーの場合

電源ボタンを押したまま ▶、①、①と順に押す。

メーカー登録番号

メーカー	ビデオの登録番号（▶▶ボタン）	DVDプレーヤーの登録番号（▶ボタン）
ソニー	①①、①②、①③、①④、①⑤、①⑥	①①
パナソニック	①⑦、①⑧、①⑨、②⑩、②①	①②
東芝	②②、②③	①③
日立	②④、②⑤、②⑥	①⑧
三菱	②⑦、②⑧、②⑨、③⑩	③⑩
ビクター	③①、③②、③③、③④	③①
サンヨー	③⑤、③⑥、③⑦、③⑧	
アイワ	③⑨、④⑩、④①	②⑤
シャープ	④②、④③、④④	②①
フナイ	④⑤	
NEC	④⑥、④⑦、④⑧、④⑨	
富士通	⑤⑩	
パイオニア	⑤①	①④、②⑨
フィリップス	⑤②	②②
RCA		①⑤
デノン		①⑦、②⑦
ヤマハ		①⑥
Samsung		②④
オンキョー		②⑥
その他	⑤③、⑤④	

2 設定の確認をする。

DVD/VTR電源ボタンで、設定した機器の電源が入/切することを確認できます。
メーカー登録番号が複数あるときは、手順1と2をくり返して、操作できるまで違うメーカー登録番号を設定し直してください。

3 ビデオやDVDプレーヤーを操作する。

テレビのリモコンをビデオやDVDプレーヤーのリモコン受光部に向けて、各ボタンを押す。

	つないだ機器を以下のように操作します。
電 源	電源入/切
○ ►	再生
○ ■	停止
○ ►►	早送り
○ ◄◄	早戻し

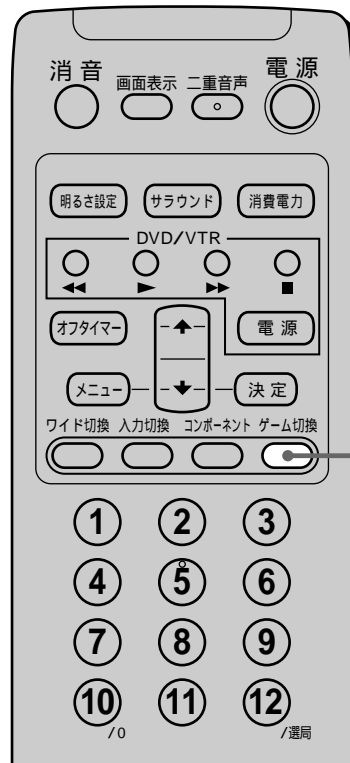
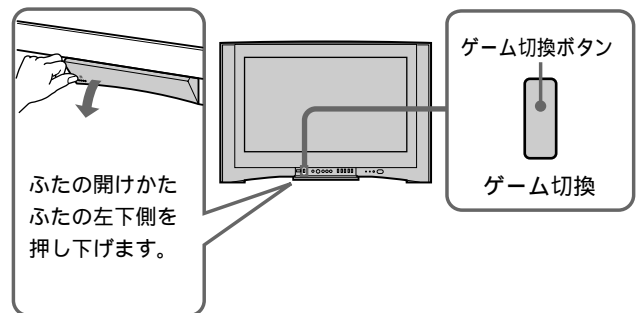
ご注意

- リモコンの電池を取り出したり、電池を使いきると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、ビデオやDVDプレーヤーのリモコンで操作してください。
- テレビのリモコンのボタンに対応する機能がビデオやDVDプレーヤーにない場合は、そのボタンは働きません。

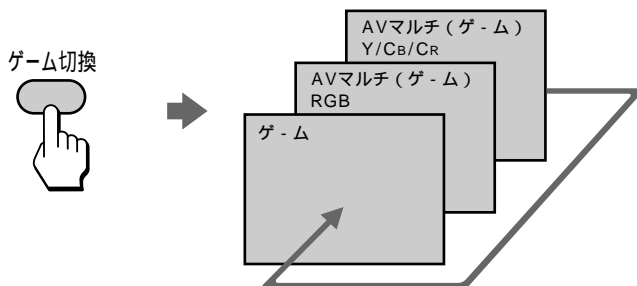
テレビゲームをする［ゲーム切換ボタン］

ゲーム切換ボタンを押すと、ゲーム/ビデオ2入力端子やAVマルチ入力（ゲーム）端子につないだテレビゲーム機器画面に切り換わります。
テレビゲームや“ プレイステーション 2 ”、“ プレイステーション ”(PS one) および“ プレイステーション ”の取扱説明書もあわせてご覧ください。

“ プレイステーション ”は、（株）ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“ PS one ”は同社の商標です。

次のページにつづく

テレビにつないだ機器の画像を見る [入力切換ボタン]（つづき）

ゲーム/ビデオ2入力とAVマルチ入力（ゲーム）を切り換えるには

ゲーム切換ボタンをくり返し押す。
ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだゲーム機の画像に切り換わります。

AVマルチ入力（ゲーム）端子につないだ“ プレイステーション 2 ”を使うには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、“ プレイステーション 2 ”の映像が出る入力（「AVマルチ（ゲーム）RGB」または「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」）にする。

ご注意

下の表のように、“ プレイステーション 2 ”側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

“ プレイステーション 2 ”側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	ゲーム切換ボタンで**「AVマルチ（ゲーム）RGB」**にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	ゲーム切換ボタンで**「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」**にする。

AVマルチ入力（ゲーム）端子につないだ“ プレイステーション ”(PS one) および“ プレイステーション ”を使うには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、「AVマルチ（ゲーム）RGB」を選ぶ。

ご注意

- AVマルチ入力（ゲーム）端子は、RGB、Y/CB/CR映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、テレビに影響はありません。
- ソフトウェアによっては、AVマルチ入力（ゲーム）端子のRGB、Y/CB/CR映像信号に適していないものもあります。
- 将来の“ プレイステーション 2 ”用の高解像度ゲームソフトなどには、このテレビは対応していません。
詳しくは、各ソフトウェアの解説書をご覧ください。

テレビの画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

ゲームの画面の左右位置を調整するには

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「ゲーム画面位置」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で画面の左右位置を調整する。**
4. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

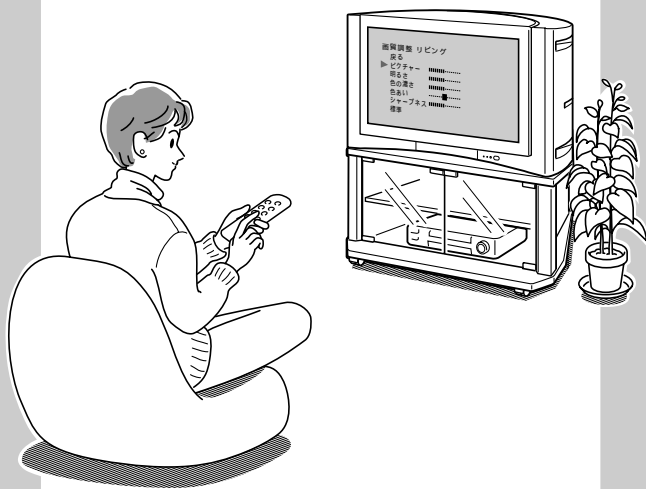
ちょっと一言

ゲームの画質調整は、テレビゲーム使用後も他の画質調整とは別にそのまま本体に記憶されます（☞20ページ）。

ご注意

「ゲーム画面位置」はゲーム切換ボタンで切り換えた「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」、「ゲーム」の画像のみ調整できます。

調整する/設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。
また、テレビに内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

オートワイドの設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」
一部の放送局の通常放送（4:3映像）には、映像を判別するための識別制御信号*が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。
このような識別制御信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイド「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」
次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイド「2」です。

お買い上げ時はオートワイド「2」（「4:3映像」の設定も「ワイドズーム」）に設定されています。ただし、「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」、「ゲーム」のときは、オートワイド「1」に設定されています。

* 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
 ー横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS1方式）
 ー横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
 ーD1映像入力端子からの横縦比情報の入った映像

オートワイドの設定を変える（つづき）

映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビやBS放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*1
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったテレビ放送*2	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*1
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
横縦比を16:9（「ズーム」または「フル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*2	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*2	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*1

*1 メニューで設定します（☞19ページ）。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。
*2 識別制御信号（☞17ページ）の入った映像です。

ちょっと一言

- ワイド切換ボタンで切り換えたあと（☞12ページ）などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと（☞12ページ）、上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。
  その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
  - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。

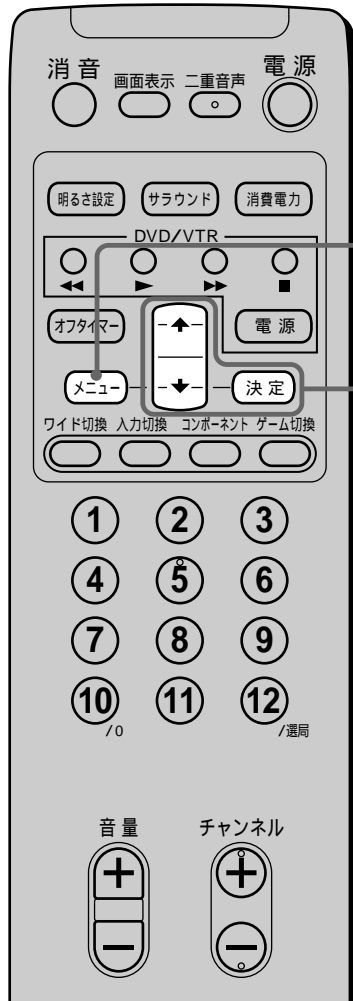
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わるときは

- 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる（☞11ページ）ためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面をテレビが判断している（☞11ページ）ためです。

ワイド画面についてのご注意

- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください（☞24ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

オートワイドを設定する/切る

オートワイドについての詳しい説明は、☞11ページをご覧ください。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **⬆/⬇で「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **「オートワイド」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

選ばれていないときは、⬆/⬇で選び、決定ボタンを押す。

4 **オートワイドを切るときは**

⬆/⬇で「切」を選び、決定ボタンを押す（手順7へ進んでください）。

オートワイドを「1」に設定するときは

⬆/⬇で「1」を選び、決定ボタンを押す（手順7へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは

⬆/⬇で「2」を選び、決定ボタンを押す。

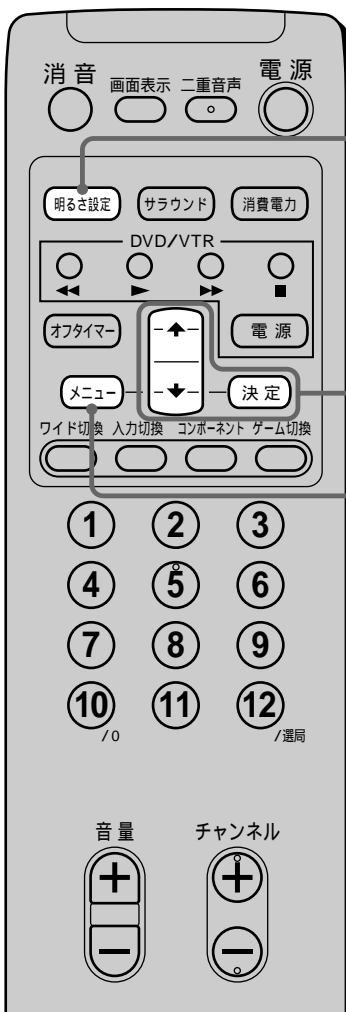
5 **オートワイド「2」のときは、⬆/⬇で「4:3映像」を選び、決定ボタンを押す。**

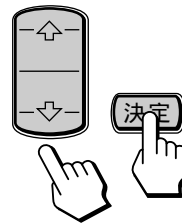
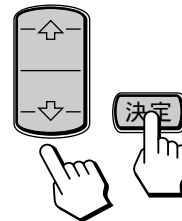
6 **⬆/⬇で「ノーマル」か「ワイドズーム」を選び、決定ボタンを押す。**

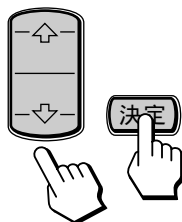
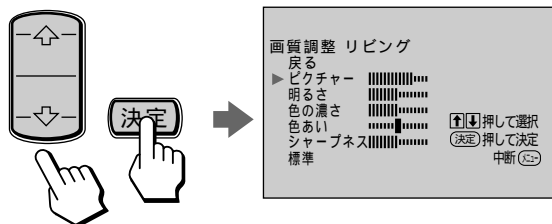
7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

より細かく画質を調整する

明るさ設定ボタンで「リビング」を選ぶ（☞8ページ）と、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*1に設定できます。

*1 ただし、以下のときは共通になります。
- コンポーネント1（D端子）とコンポーネント2（D端子）のとき
- 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
- ゲーム切換ボタンで切り換えたAVマルチ（ゲーム）RGBとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRのとき

1 明るさ設定ボタンをくり返し押して、「リビング」を選ぶ。

2 メニューボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。

5 ⬆/⬇で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

6 ⇧/⇩で調整し、決定ボタンを押す。

項目	⇧ を押すと	⇩を押すと
ピクチャー	明暗の差が大きくなる	明暗の差が小さくなる
明るさ	明るくなる	暗くなる
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色あい	緑がかる	赤みがかる
シャープネス	映像の輪郭がくっきりする	映像の輪郭が柔らかくなる

ちょっと一言

調節バーの上に表示される数値も調節の目安になります。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

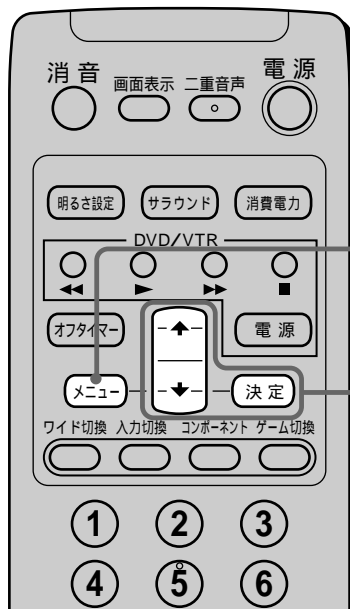
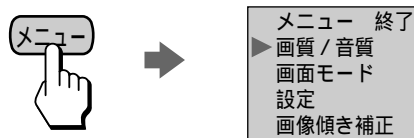
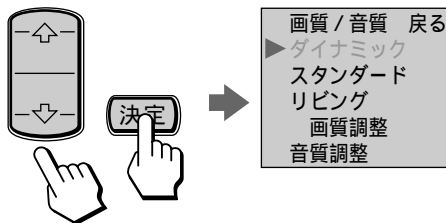
手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

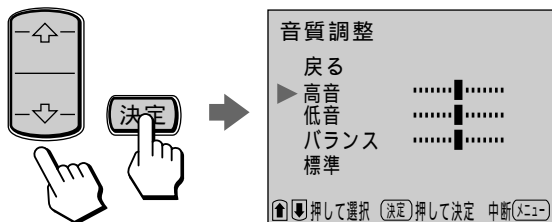
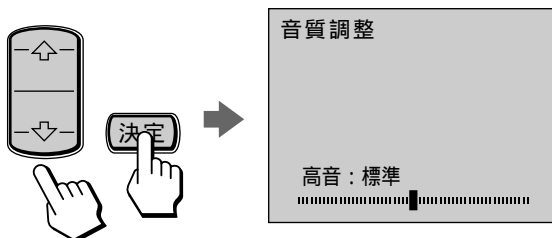
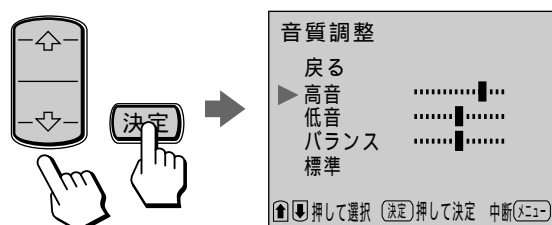
- 「ダイナミック」と「スタンダード」（☞8ページ）では、画質調整できません。
- AVマルチRGBとAVマルチ（ゲーム）RGBのときは、「色の濃さ」と「色あい」、「シャープネス」は調整できません。

音質を調整する

音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*2に設定できます。

*2 ただし、以下のときは共通になります。
- コンポーネント1（D端子）とコンポーネント2（D端子）のとき
- 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
- ゲーム切換ボタンで切り換えたAVマルチ（ゲーム）RGBとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRのとき

1 メニューボタンを押す。

2 ⇧/⇩で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

音質を調整する（つづき）

3 **↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。**

項目	↑を押すと	↓を押すと
高音	強くなる	弱くなる
低音	強くなる	弱くなる
バランス	右スピーカーの音が強くなる	左スピーカーの音が強くなる

ちょっと一言

調節バーの上に表示される数値も調節の目安になります。

6 **他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。**

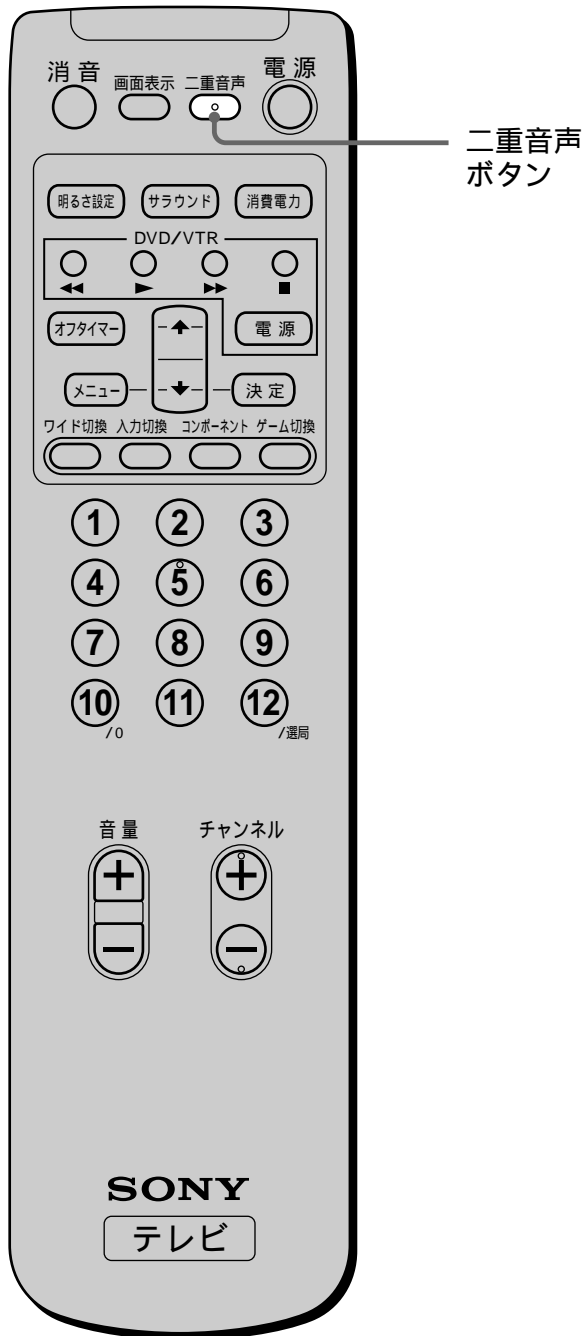
7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

音声を切り換える

[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声

例：「主/副」を選んだとき

通常のテレビ（VHF/UHF）のステレオ放送で雑音が気になるときは

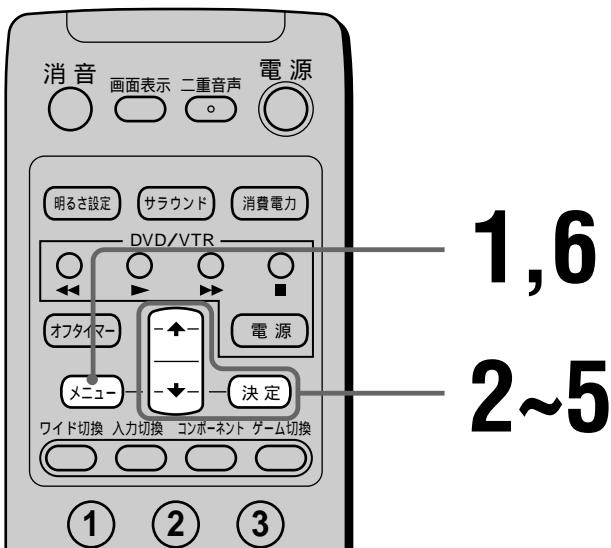
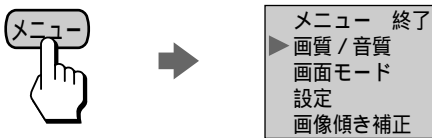
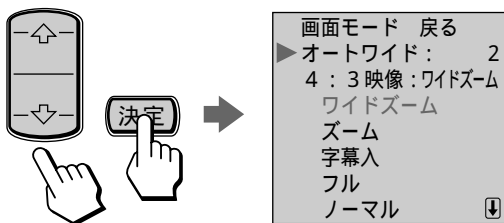
音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

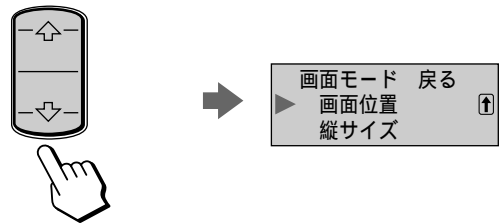
1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

画面の上下位置/縦サイズを調整する

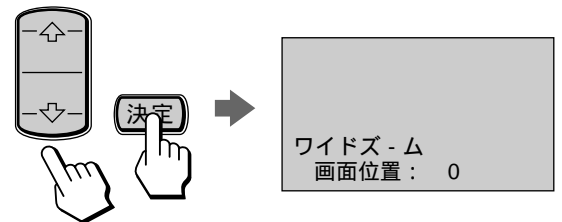
ワイド画像で次のようなときは、画面上下位置や縦サイズを、画面モード（☞11ページ）ごとに調整できます。

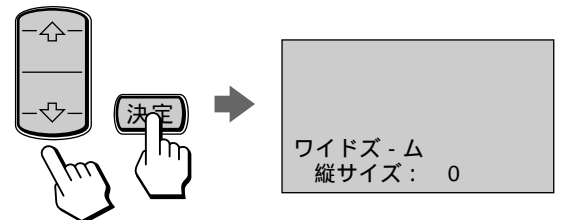
–「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
–「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。

1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↓を押し続けて「ノーマル」の下まで移動する。

「画面位置」と「縦サイズ」が表示されます。

4 ↑/↓で調整したい項目を選ぶ。

画面の上下位置を調整するときは

↑/↓で「画面位置」を選び、決定ボタンを押す。

サイズを調整するときは

↑/↓で「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。

画面の位置を調整するときは

↑ を押すと	↓ を押すと
画面の位置が上がる	画面の位置が下がる

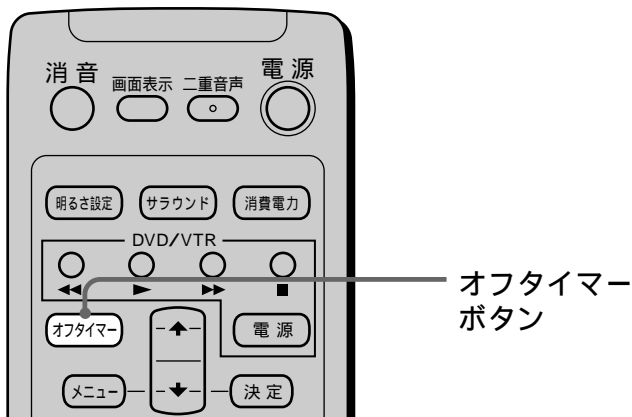
縦サイズを調整するときは

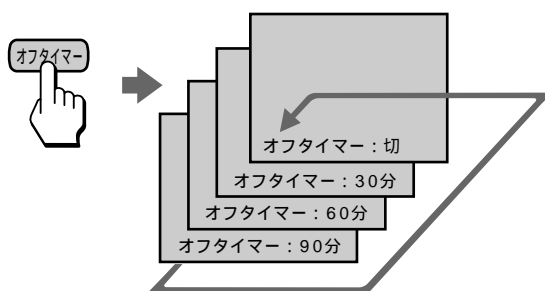
↑ を押すと	↓ を押すと
縦サイズが伸びる	縦サイズが縮む

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

自動で電源を切る

［オフタイマーボタン］

見ている番組の終わる時間などに合わせて、自動的にテレビの電源を切るように設定できます。設定できる時間は30分、60分、または90分後です。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー：切」を選ぶ。

ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例：「オフタイマー：あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。

つないだ機器からの入力信号がないときに自動で電源を切る［外部入力オートシャットオフ］

省電力のため、放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
同様に、つないだ機器からの信号がないままの状態（外部入力無信号状態）のときに、自動で電源をオフ（スタンバイモード）にするように設定できます。
お買い上げ時は、「入」に設定されています。
「切」にして自動で電源をオフしないようにすることもできますが、省電力のため、通常は「入」のままで使うことをおすすめします。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「外部入力オートシャットオフ」を選び、決定ボタンを押す。

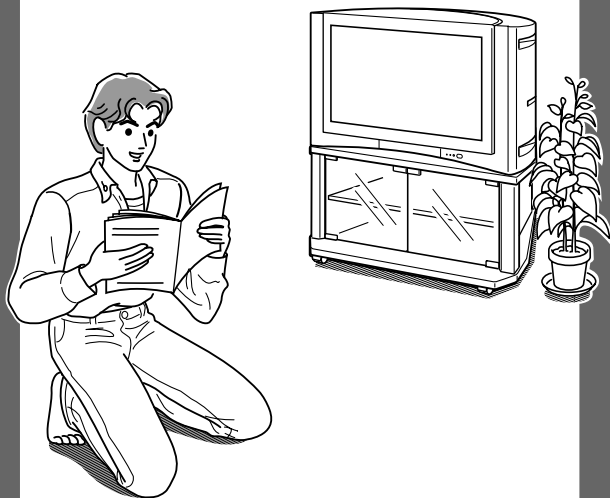
5 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

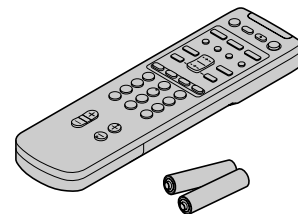
ご注意

外部入力オートシャットオフが「入」のときは、つないだ機器からの映像入力信号がなくなると、数秒後音声も出なくなります。
つないだ外部機器の音声だけをテレビのスピーカーで聞くときは、必ず、外部入力オートシャットオフを「切」に設定してください。

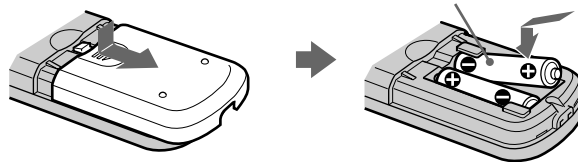
テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定を説明しています。
手順1～3（☞27～32ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞35ページ）をご覧ください。

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

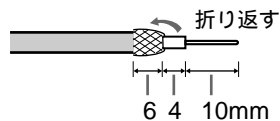
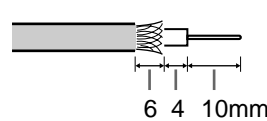
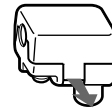
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

手順1：テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

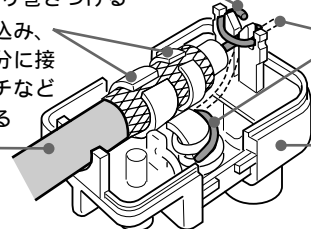
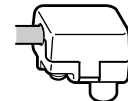
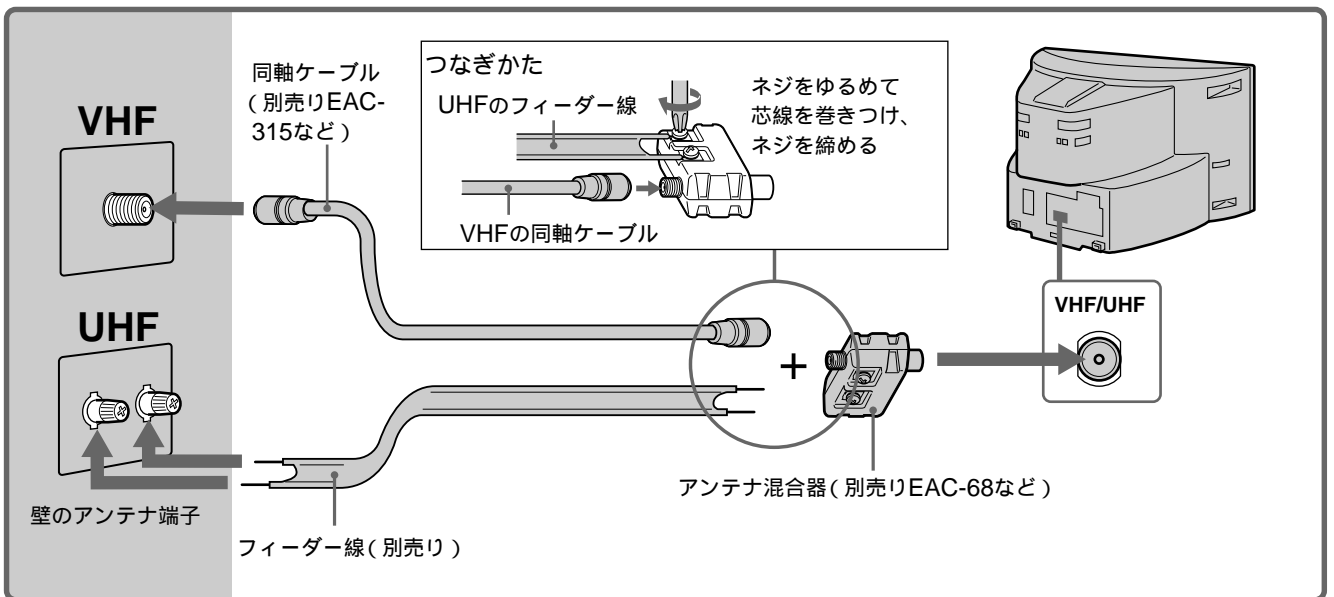
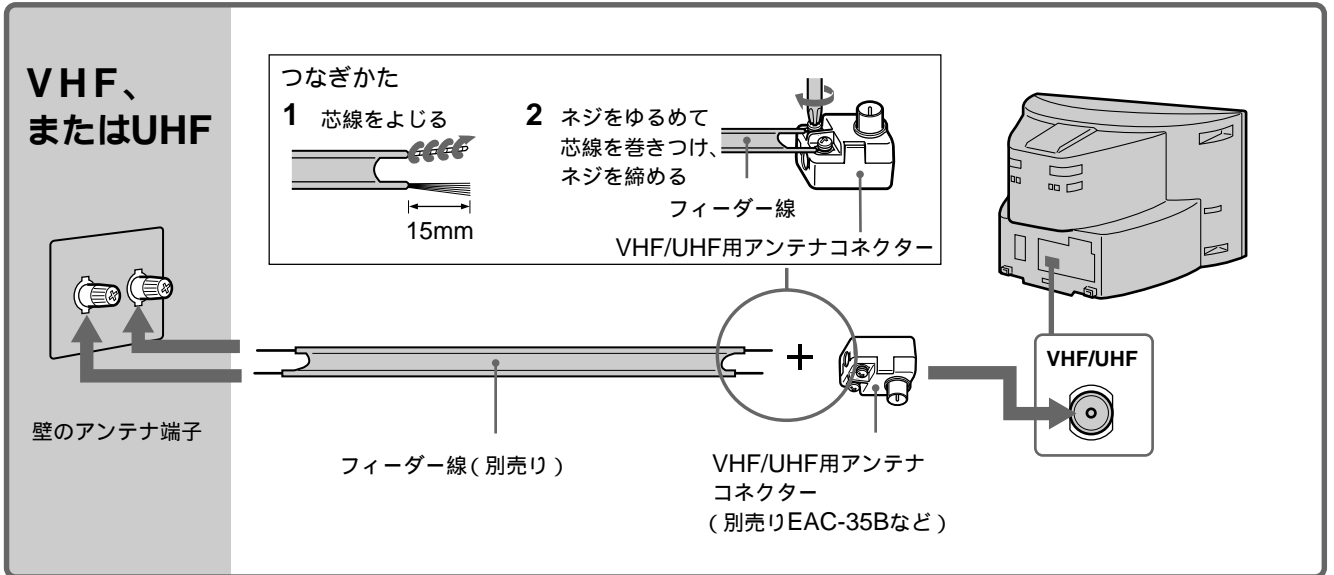
VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF

つなぎかた

1 同軸ケーブルの芯線とアミ線を出す

EAC-230など3C-2Vの場合

EAC-250など5C-2Vの場合

2 VHF/UHF用アンテナコネクターの両側を広げてふたを開ける

3

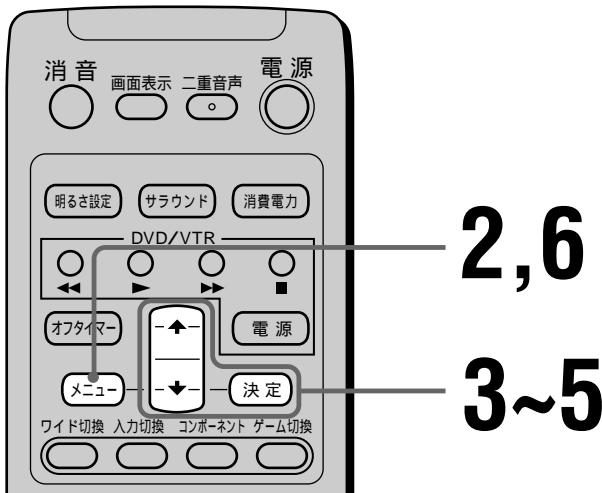
4 ふたを閉める

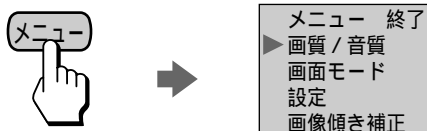
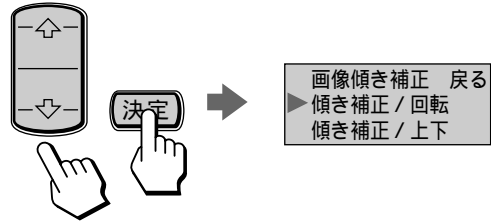
次のページにつづく

手順1：
テレビアンテナをつなぐ（つづき）

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線でつなぐときは、テレビからできるだけ離してください。

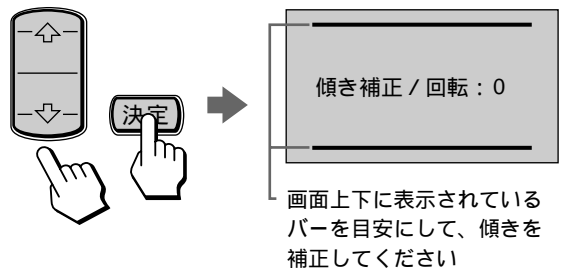
手順2：地磁気による画像の傾きなどを補正する

地磁気など磁界によって発生する画像の傾きを補正できます。これらの症状は、テレビの故障ではありません。
お買い上げ時は、テレビアンテナをつないでから、必ず画像の傾きや上下位置を補正してください。
お引っ越し後や、テレビの設置場所を変えたときも、必ずメニュー画面で補正し直してください。

補正される前に確認してください。
- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、テレビから30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 強い磁界（高圧電線や電車、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、ソニーサービス窓口やお買い上げ店などにご相談ください。

1 電源を入れる。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「画像傾き補正」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「傾き補正/回転」または「傾き補正/上下」を選び、決定ボタンを押す。

画像が傾いているときは「傾き補正/回転」を、画像の上下位置がずれているときは「傾き補正/上下」を選びます。

画面上下に表示されているバーを目安にして、傾きを補正してください

5 ↑/↓で調整する。

手順4で「傾き補正/回転」を選んだとき
画面上下のバーができる限り水平になるようにします。数値は−3〜＋3の範囲で変わります。

手順4で「傾き補正/上下」を選んだとき
画面上下のバーが、画面の上下の端から、できるだけ均等になるように、位置を補正します。数値は−3〜＋3の範囲で変わります。

補正中の画面モードは補正に適した「フル」になります。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ワイド画面の画面モードは元の設定（オートワイドなど）に戻ります。

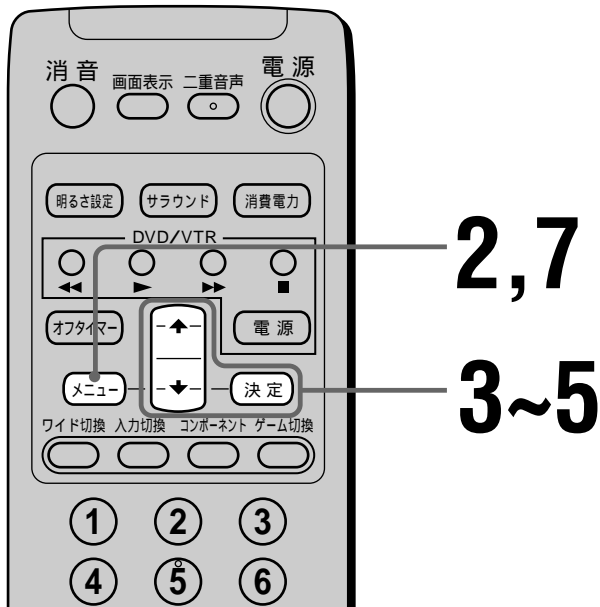
ご注意

うまく補正しきれないときは、いったんテレビの電源を切り、設置の場所を変えるか、テレビの向きを変えてから、もう1度、傾き補正の手順を行ってください。
電源を切らずに移動したり、向きを変えたりすると、補正がうまくされなかったり、色むらを起こす原因になります。
色むらが出たときは、移動したり、向きを変えたあとに、いったん電源を切って30分以上待ってから電源を入れてください。または、電源を入れたままで30分以上待ってから、いったん電源を切って、もう1度、電源を入れ直してください。

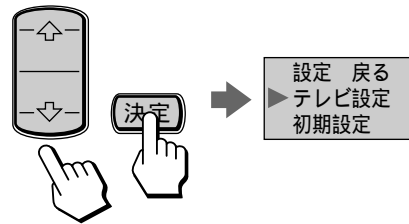
手順3：チャンネルを設定する

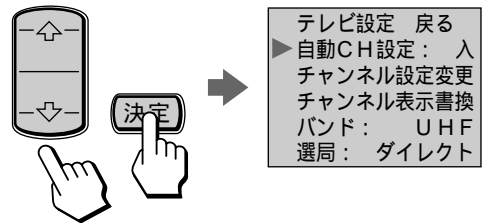
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

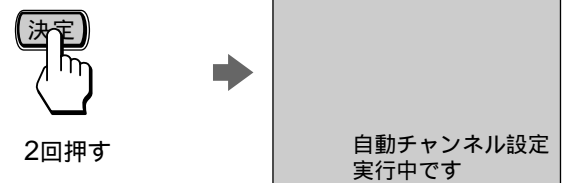
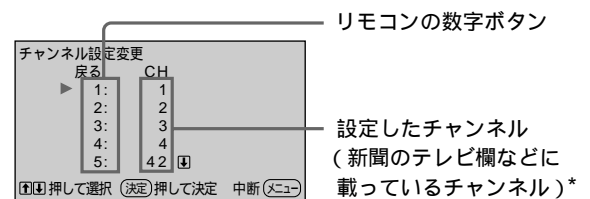
自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞31、32ページをご覧ください。

1 電源を入れて、VHF/UHF放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

メニュー
メニュー　終了
▶画質／音質
画面モード
設定
画像傾き補正

3 ⬆/⬇で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ▶が「自動CH設定」の左側に表示されていて、「入」になっていることを確認したあと、決定ボタンを2回押す。

「切」になっているときは、決定ボタンを1回押したあと、⬆/⬇で「入」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

＊ 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは
☞31ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、メニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 ダイレクト選局になっていることを確認する（☞33ページ）。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓で「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞33ページ）をするときは、上記で受信設定をしたあと、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜12のチャンネル数字ボタンのすべてを、手動で設定できます。

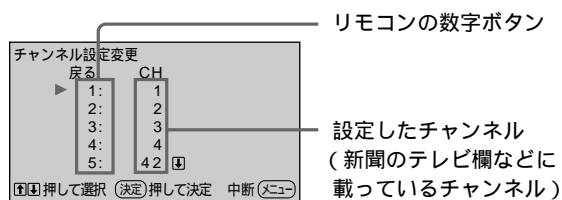
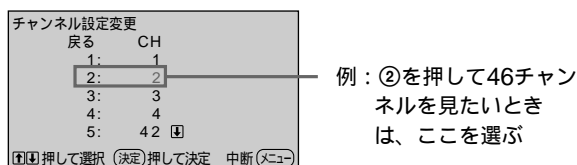
リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

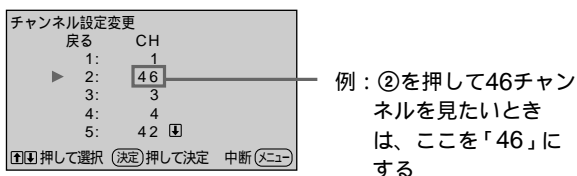
2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

テレビの接続と準備

次のページにつづく

手順3：チャンネルを設定する（つづき）

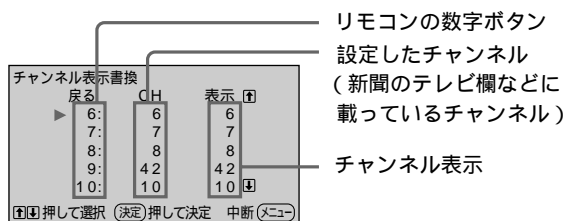
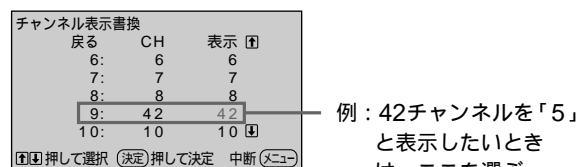
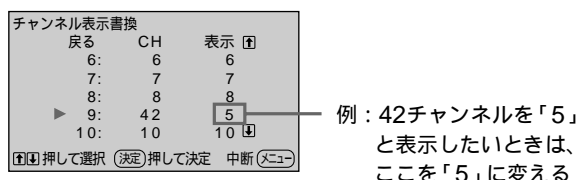
チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

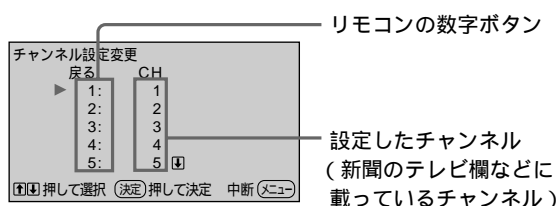
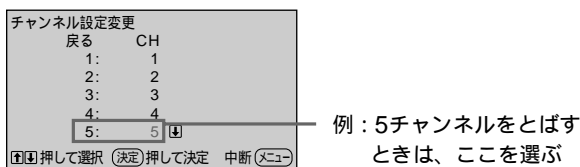
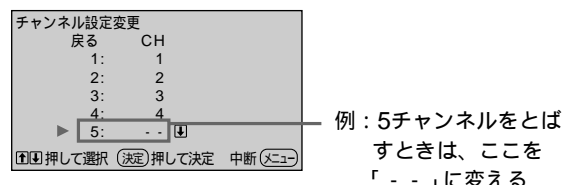
放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

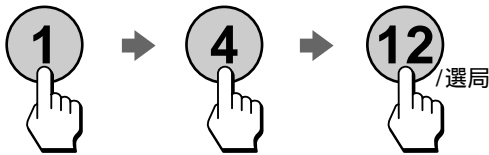
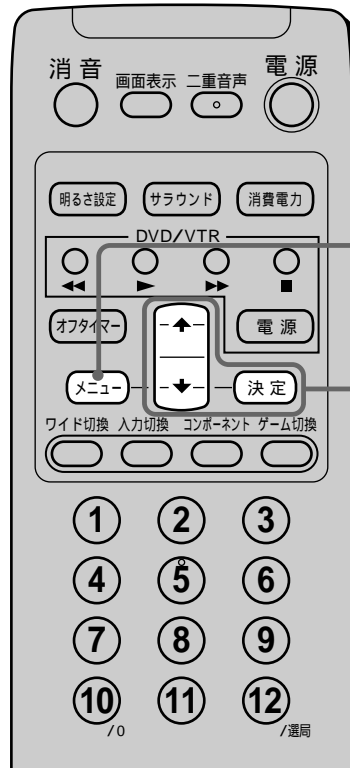
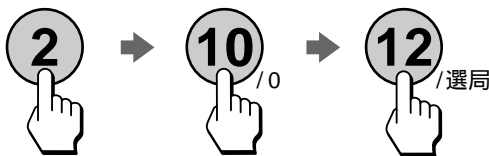
2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「CH」を「－－」に変えて、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

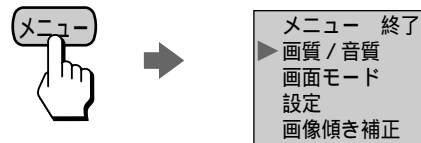
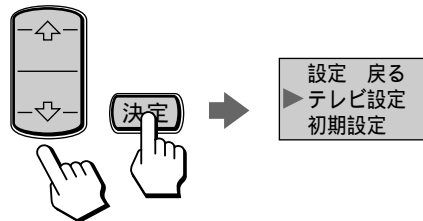
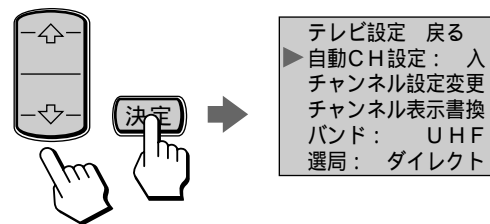
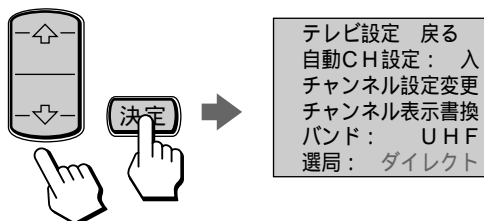
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ [10キー選局]

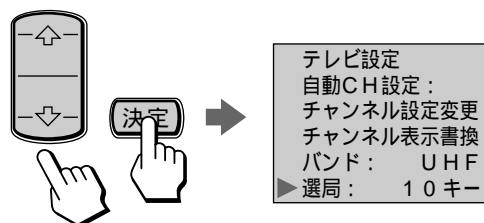
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大12局です。
そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が12局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押したあと、⑫（=選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

例） 14**チャンネル**

20**チャンネル**

1 メニューボタンを押す。

2 ▲/▼で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ▲/▼で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］（つづき）

4 **↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ダイレクト選局に戻すには

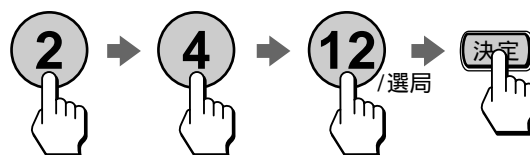
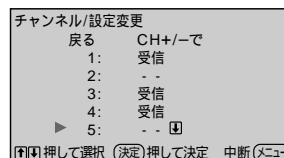
手順5で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

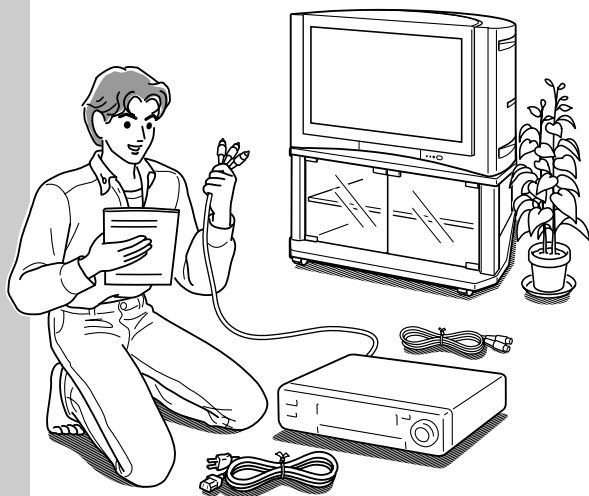
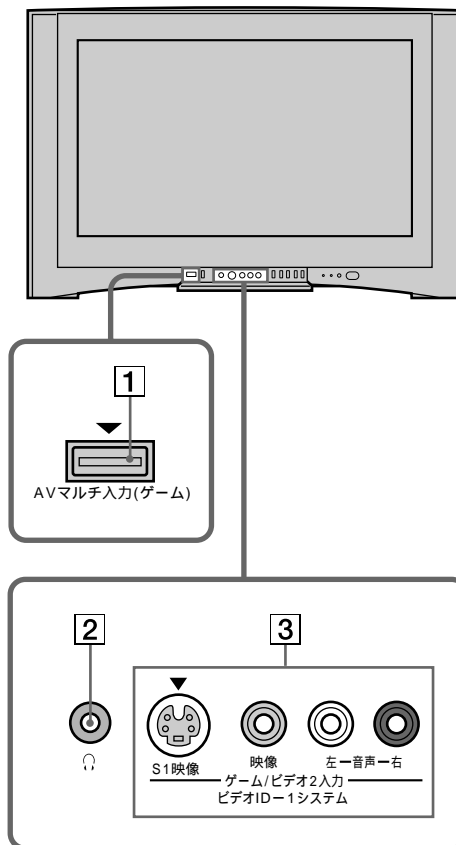
- チャンネルを自動設定する（☞30ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順3のあとに下記の操作をしてください。
  1. ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2. ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3. 手順4以降を行う。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1〜12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**
   例：24チャンネルのとき

6. **↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「－－」を選び、決定ボタンを押す。**

7. **複数のチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。**
8. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

他機との接続

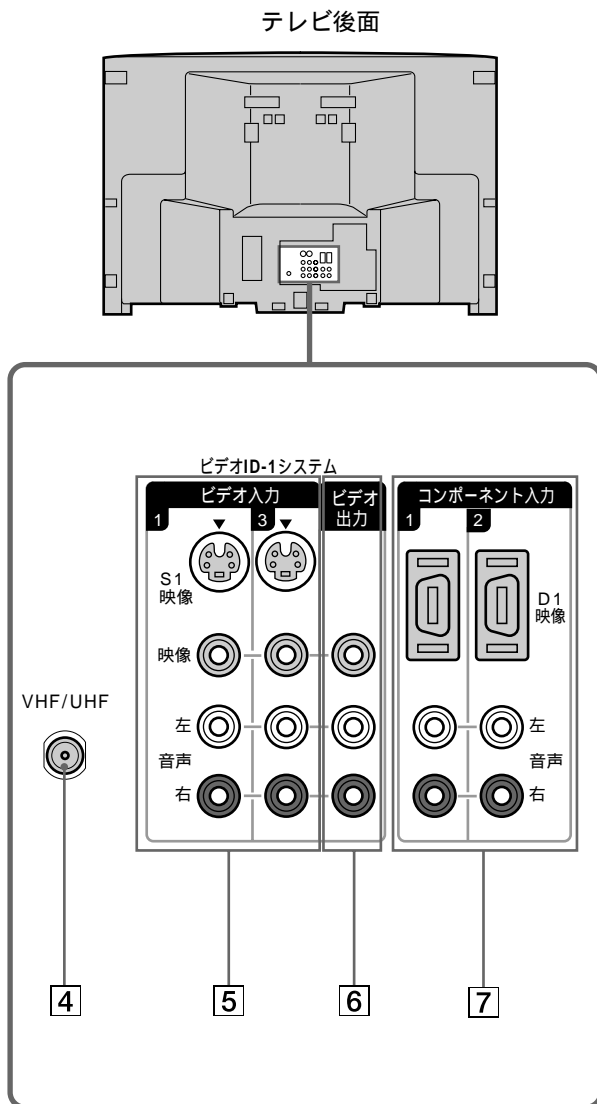
ここでは、接続端子のなまえとはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞26ページ）をご覧ください。

接続端子のなまえとはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 **AVマルチ入力（ゲーム）端子（☞42ページ）**
別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250）を使って、“ プレイステーション 2 ”、“ プレイステーション ”（PS one）および“ プレイステーション ”のAVマルチ出力端子につなぎます。1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

2 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

3 **ゲーム/ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞43ページ）**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

接続端子のなまえとはたらき（つづき）

テレビ後面

☞のページに詳しい説明があります。

4 VHF/UHF**アンテナ端子**（☞27、28**ページ**）
VHF/UHF用の同軸ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

5 **ビデオ**1、3**入力端子**（S1**映像/映像/音声**）（**ビデオ**ID-1**システム**）（☞38**ページ**）
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

6 **ビデオ出力端子**（**映像/音声**）
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
VHF/UHF、ビデオ1*1〜3入力、AVマルチの信号（AVマルチY/CB/CRとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRを除く）を出力します。

*1 ただし、ビデオ1入力の信号については、「設定」メニューで「初期設定」を選び、「ビデオ出力設定」で「ビデオ1あり」にする必要があります（☞37ページ）。

ご注意

コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。

7 **コンポーネント**1、2**入力端子**（D1**映像/音声**）（☞39、40、43**ページ**）

D1映像入力端子*2

地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器、DVDプレーヤーなどのD映像出力端子につなぎます。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーの出力設定については、地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

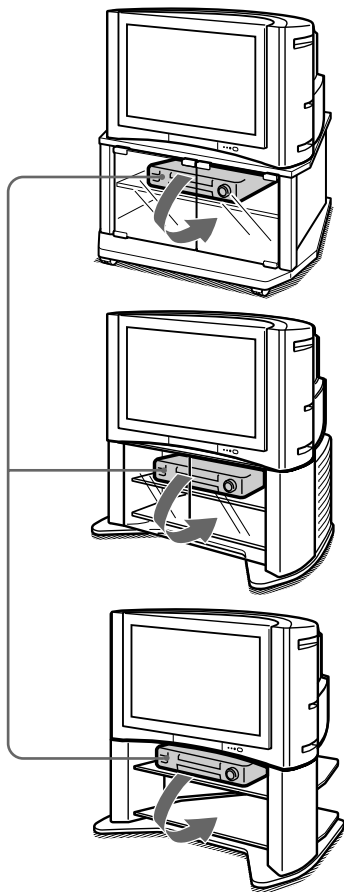
*2 D端子について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞53ページ）をご覧ください。

音声入力端子

地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

ビデオなどをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
ビデオデッキなど一部の機器をテレビスタンドの上段などテレビに近い場所に設置すると、テレビがビデオデッキなどから干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。
このときは、ビデオデッキなどをスタンドの下段に設置してください。

画像の乱れやノイズが気になるときは、ビデオデッキなどの機器をスタンドの下段に設置してください。

Ｓ1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

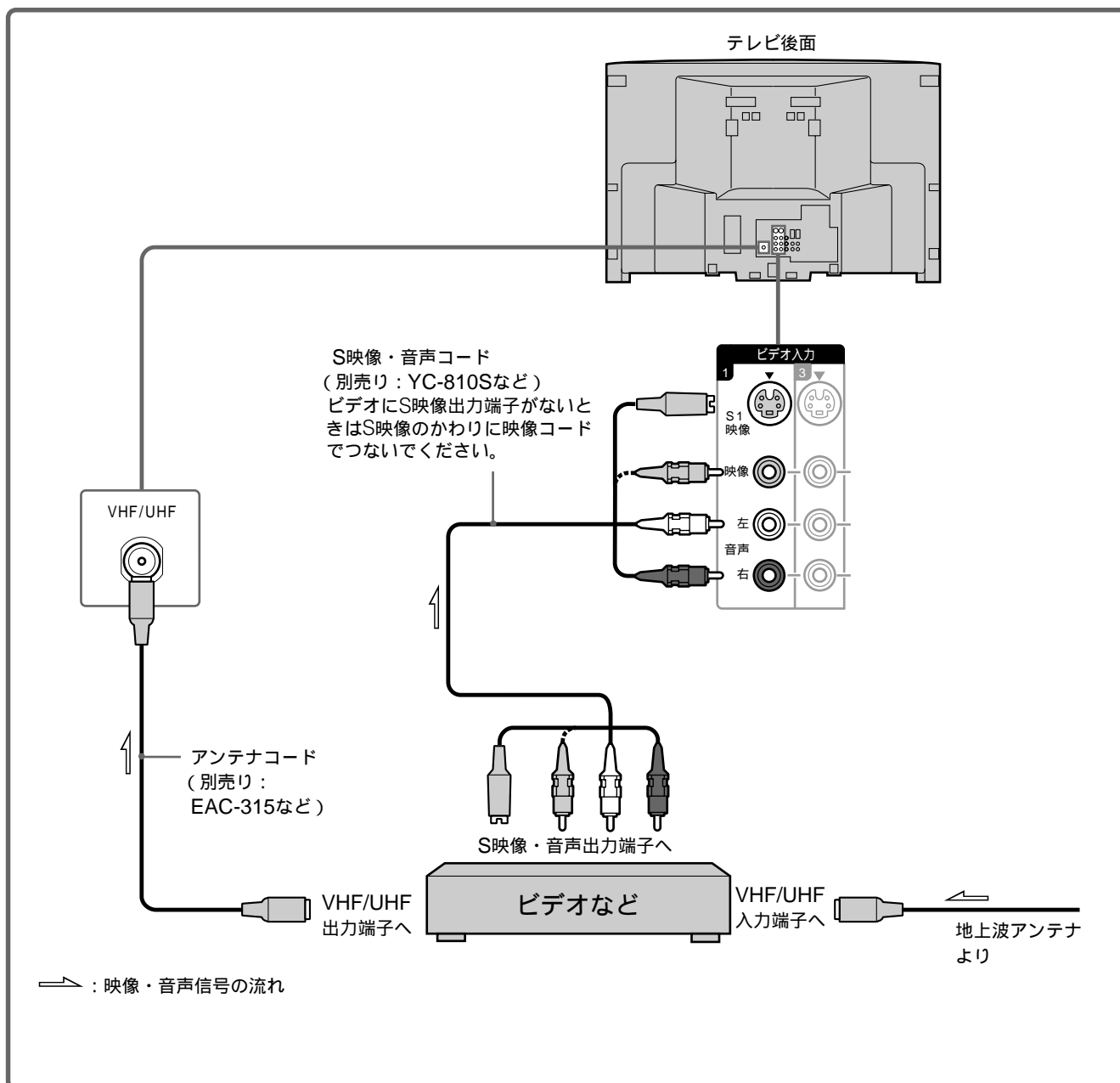
よりよい画質でご覧いただくために、つなぐ機器にS映像端子がある場合はS1映像端子につないでください。つなぐ機器にＳ映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

ご注意
テレビのビデオ1、3入力またはゲーム/ビデオ2入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

ビデオ1入力の信号をビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないようになっています。
そのため、ビデオ出力端子につないだオーディオ機器などで、ビデオ1入力の音声を楽しむときなど（☞45ページ）は、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がビデオ出力端子から出力されます。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「ビデオ1あり」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

次のページにつづく

ビデオを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。

詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ご注意

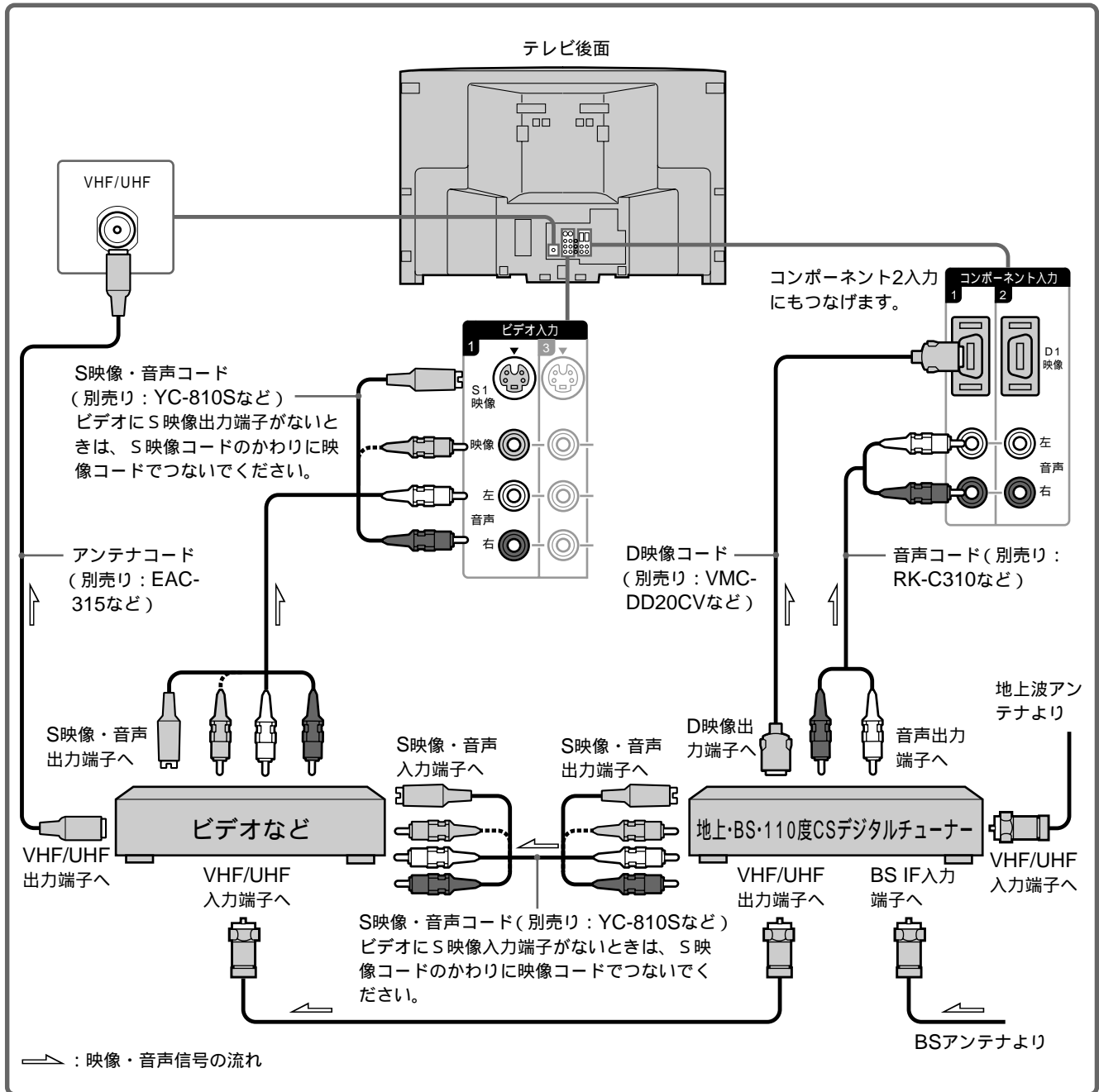
テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたゲーム/ビデオ2入力端子またはビデオ3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞37ページ）。

テレビのリモコンでビデオを操作するには

DVD/VTR操作ボタンで設定し、操作する。

詳しくは、☞14ページをご覧ください。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには、地上・BS・110度CSデジタルチューナーが必要です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ご注意

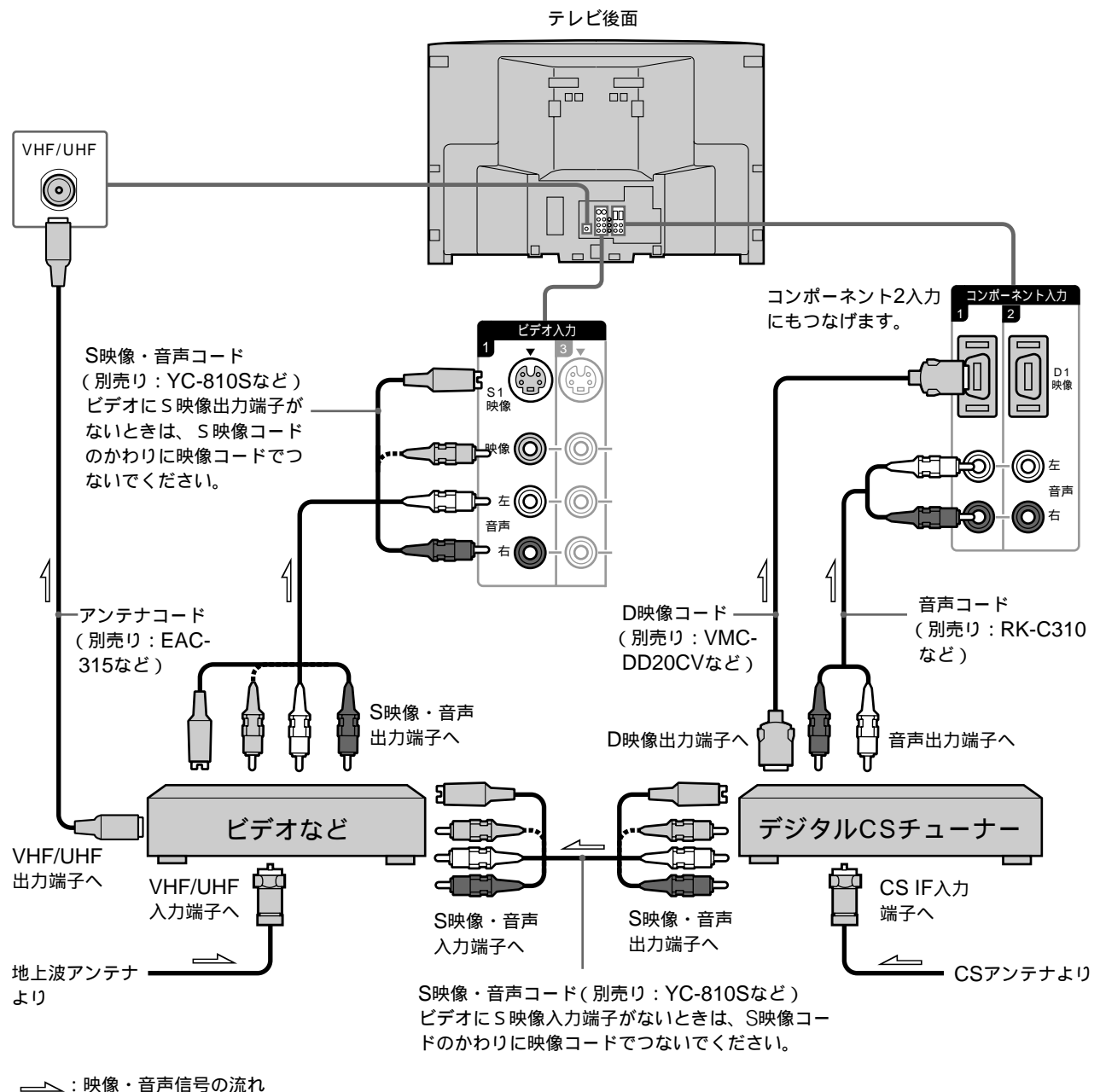
このテレビにはD1映像入力端子がついています。地上・BS・110度CSデジタルチューナー側でD1端子に合った設定にしてください。

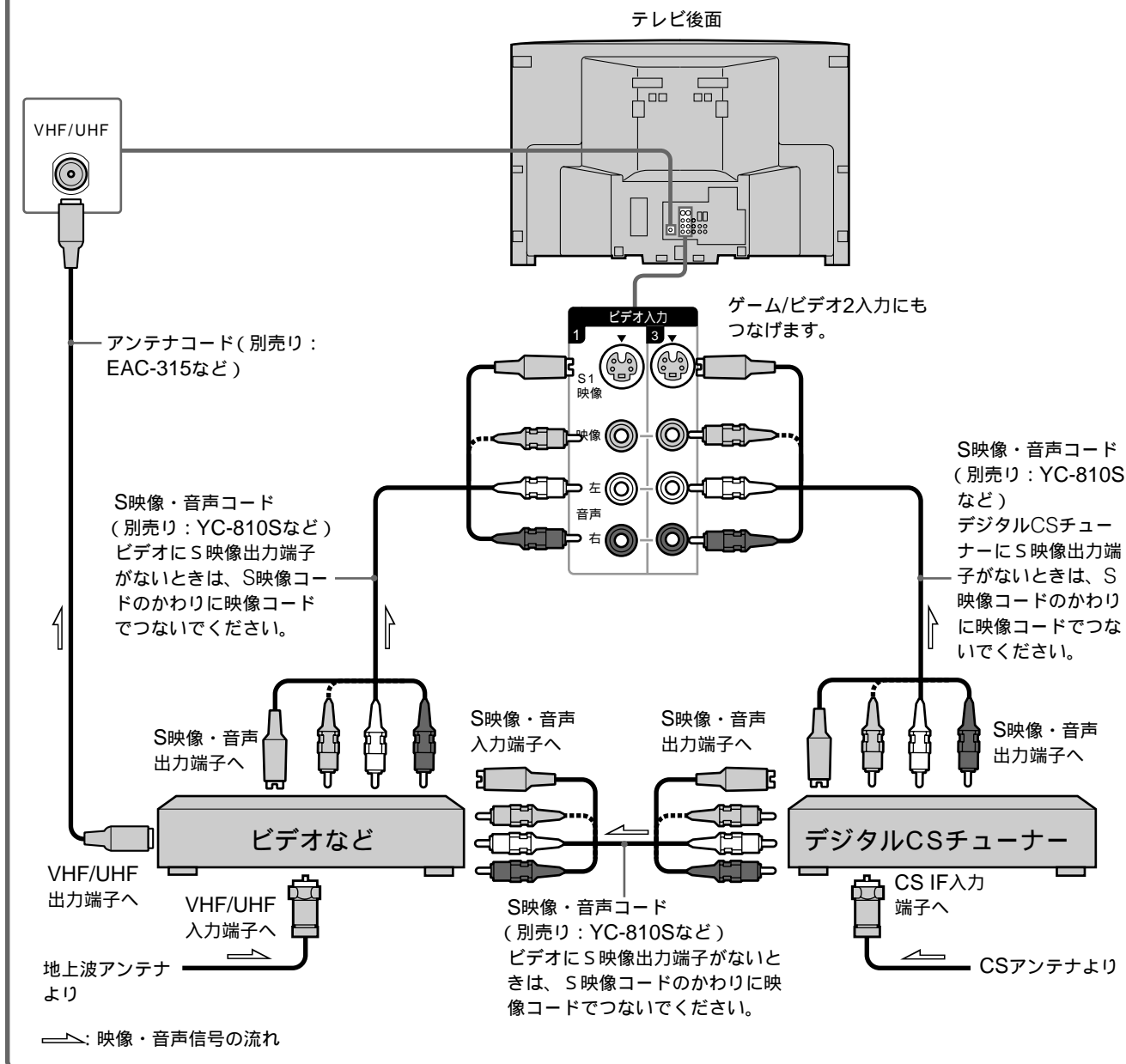
他機との接続

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* スカイパーフェクTV!のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D映像出力端子のあるデジタルCSチューナーのとき

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

デジタルCS放送を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ2」または「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”をつなぐ

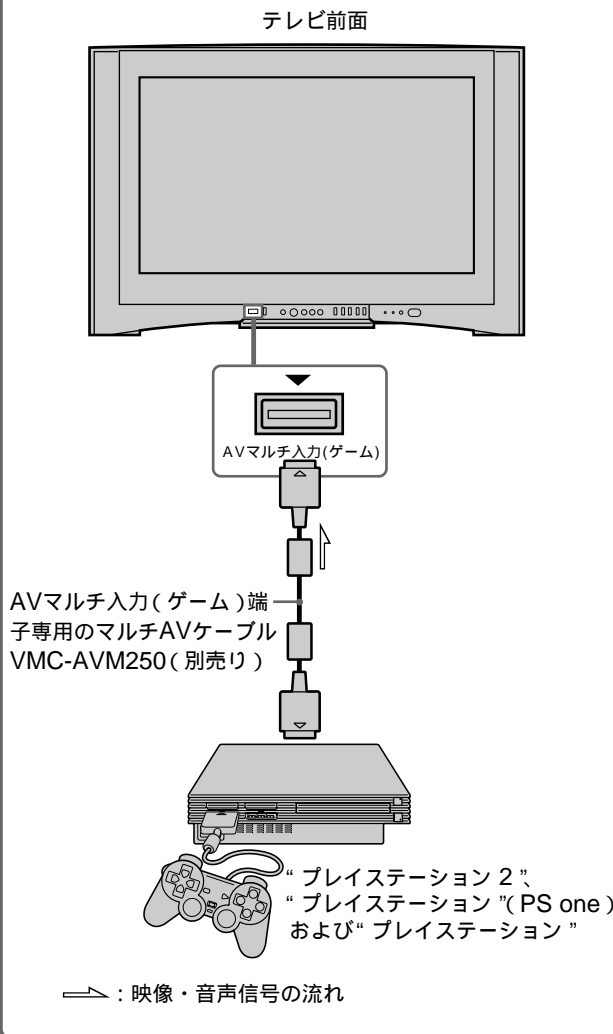
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”(PS one) および
“プレイステーション”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

ご注意
“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y Cb/Pb Cr/Pr）に固定されるため、画面が乱れることがあります。このテレビのAVマルチ入力端子は、コンポーネント映像信号に対応していますが、「ゲーム切換」が「AVマルチ（ゲーム）RGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。ゲーム切換ボタンをくり返し押して、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
URL............................. http://www.playstation.jp/info/
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00〜18:00（土日祝日を除く）

“プレイステーション”は、（株）ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“PS one”は同社の商標です。

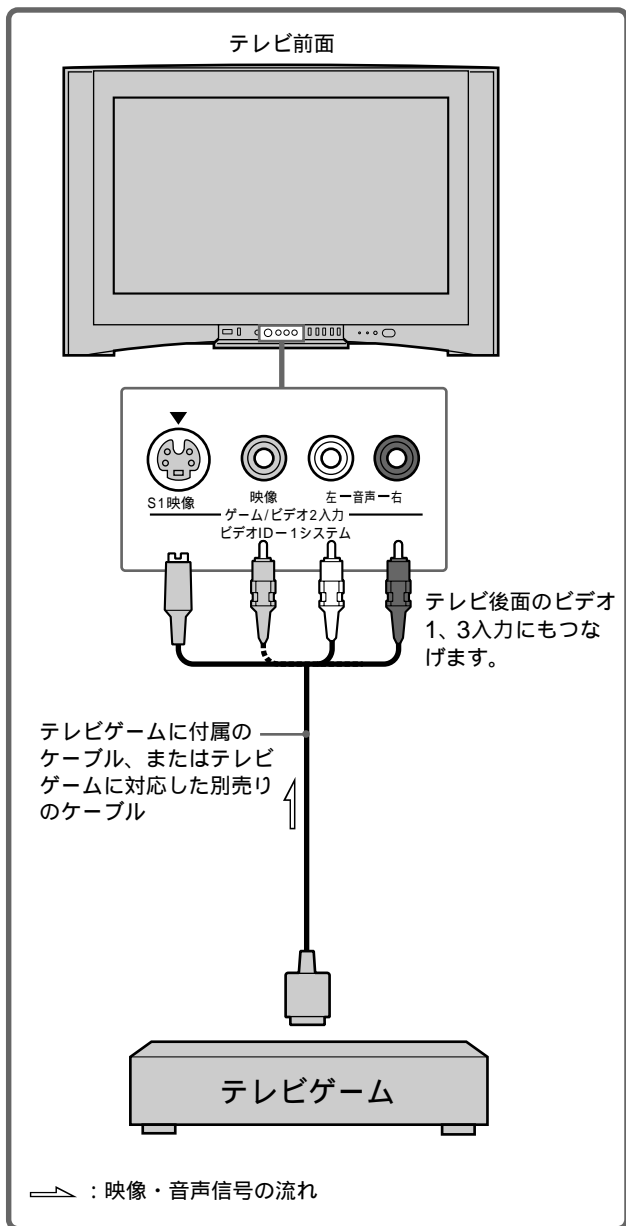
別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”を使うには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”(PS one) および
“プレイステーション”をつないだ入力（「AVマルチ（ゲーム）RGB」または「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビ前面のゲーム/ビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、
テレビゲームをつないだ入力（「ゲーム」）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

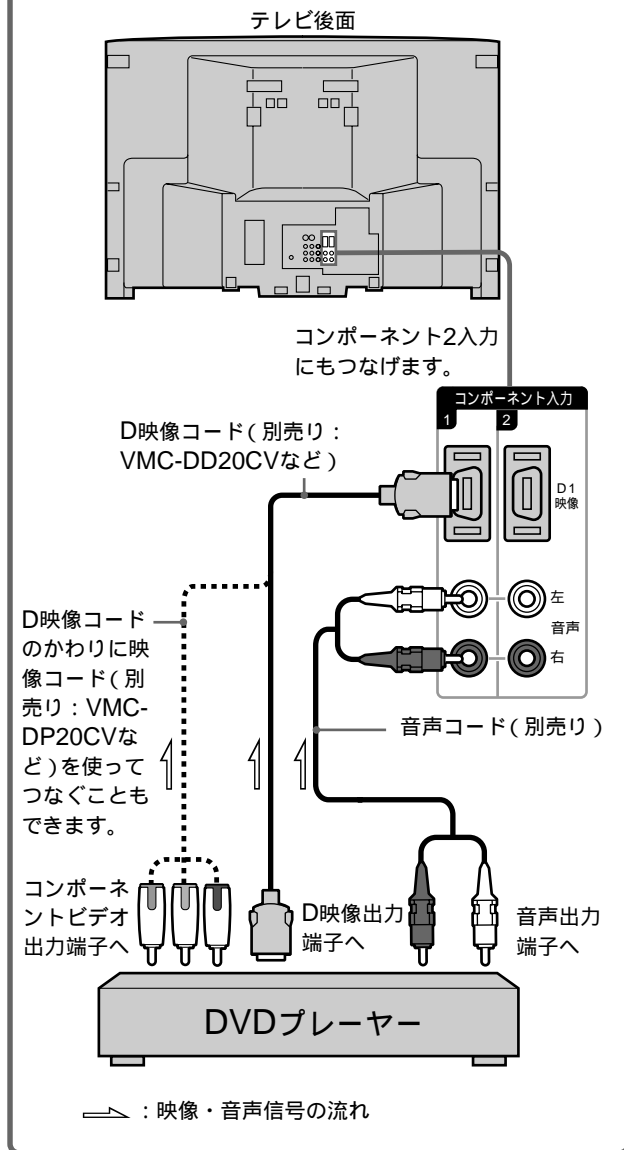
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

他機との接続

DVDプレーヤーをつなぐ（つづき）

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

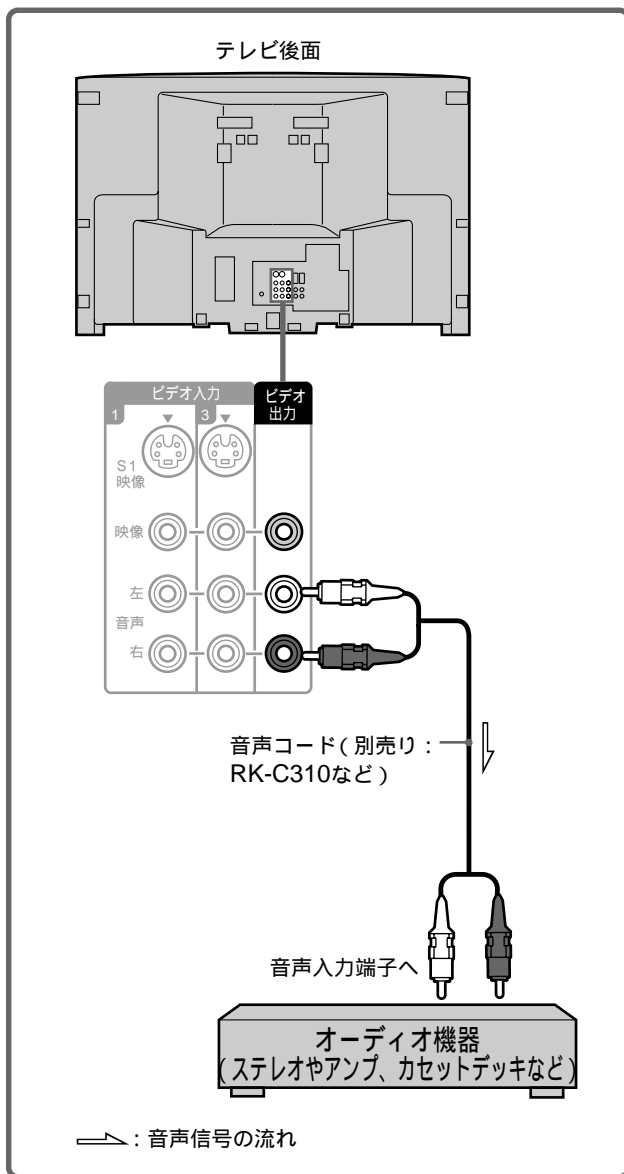
コンポーネントボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

入力切換ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

テレビのリモコンでDVDプレーヤーを操作するには

DVD/VTR操作ボタンで設定し、操作する。
詳しくは、☞14ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- コンポーネント入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし、映像信号は出力されません。
- 音声だけを聞くときは、必ず「外部入力オートシャットオフ」を「切」にしてください（☞25ページ）。

ちょっと一言

お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、「設定」メニューの「初期設定」を選び、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください（☞37ページ）。

他機との接続

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

ケーブイ　ディーエイ
テレビ本体の型名：KV-28DA55

画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

アールエム　ジェイ
リモコンの型名：RM-J252

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

このテレビには自己診断表示機能がついています。これ

はテレビに異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合もあります。

スタンバイ/オフタイマーランプ（赤）

1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。

2 テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

テレビの症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。	● 電源コードをしっかりつないでください。 ● テレビ本体の電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞30ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態や、つないだ機器からの入力信号がない状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 ● オーディオ機器やラジオなどの音声信号だけを聞くときは、必ず「設定」メニューの「初期設定」で「外部入力オートシャットオフ」を「切」にしてください（☞25ページ）。 ● オフタイマーを設定していませんでしたか？（☞25ページ）
	つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞13、15ページ）。
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。
	斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞8ページ）。 ●「画質/音質」メニューで画質を調整してください（☞20ページ）。 ●「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります（☞10ページ）。
	画面がまぶしい。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞8ページ）。
	画面の一部に色むらがある。	● テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 ● テレビをしばらく見たあと、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。 ● ハロゲンヒーターなどの電化製品の影響を受けて色むらが発生することがあります。そのときは、一度テレビの電源を切り、約30分後にハロゲンヒーターなどの電化製品の電源を切った状態で、テレビの電源を入れなおし、次にハロゲンヒーターなどの電源を入れてください。テレビの電源を入れるときは、ハロゲンヒーターなどの電源をいったん切った状態で入れるようにすると影響を受けにくくなります。

次のページにつづく

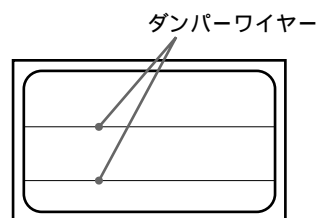
故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
きれいに映らない	**画像が傾いている。**	●「画像傾き補正」メニューで「傾き補正／回転」と「傾き補正／上下」を調整してください（☞29ページ）。 ● 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のためうまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。 また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。
	縞状のノイズが多い。	● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	● ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one)および“プレイステーション”の画像がずれる。	● ゲーム切換ボタンで切り換えた「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」のときは、メニューの「ゲーム画面位置」で調整してください（☞16ページ）。
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか、音量+ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。 ● オーディオ機器やラジオなどの音声信号だけを聞くときは、必ず「設定」メニューの「初期設定」で「外部入力オートシャットオフ」を「切」にしてください。（☞25ページ）。
	雑音が多い。	● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 ● テレビ放送など通常の音質のときはリモコンのサラウンドボタンで「サラウンド　切」にしてください（☞9ページ）。 ●「設定」メニューの「初期設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください（☞23ページ）。
ワイド画面が切り換わる	**オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。**	● CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面をテレビが判断しているためです（☞11ページ）。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞11ページ）。 ● オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、オートワイドを「切」にしてください（☞19ページ）。

症状		対処のしかた
テレビから異音がする	「ピシッ」というきしみ音が出る。	● 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、テレビに影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	● 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、テレビに影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	● テレビ内部で発生する静電気が原因で、テレビに影響はありません。
画面が一瞬光る	暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。	● ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。テレビの性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	リモコンでテレビが操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞33ページ）** ● 「設定」メニューで「テレビ設定」を選び、「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞33ページ）** ● 「設定」メニューで「テレビ設定」を選び、「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 ● チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。
	テレビのリモコンでビデオやDVDプレーヤーが操作できない。	● リモコンのメーカー登録番号を、操作するビデオやDVDプレーヤーのメーカー登録番号と合わせてください（☞14ページ）。 ● リモコンを、操作する機器のリモコン受光部に向けて操作してください（☞14ページ）。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は右図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

その他

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-28DA55

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ブラウン管表面のお手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研磨剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。
表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはおやめください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も使わないでください。

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
ブラウン管*　FDトリニトロン102度偏向28型
* テレビの型（28型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　57.5×32.4、66.0cm対角
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　5.5×13cm（2）
音声出力　実用最大：3W×2（JEITA）

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF 75ΩF型コネクター
ビデオ1、3入力端子、ゲーム/ビデオ2入力端子
S1映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ
コンポーネント1、2入力端子
D1映像：
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
C_B/C_R：±350mVp-p、
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AVマルチ入力（ゲーム）端子
12ピン
ビデオ出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時の数値です。
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上

電源部・その他

消費電力　125W
（リモコン待機時0.07W）
年間消費電力量**
127kWh/年
**年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
最大外形寸法　78.6×52.3×51.6cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約44.8kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-J252（1）
乾電池　単3形（2）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

2004年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド　SU-FV29
SU-S28DX
SU-B28DX
ステレオヘッドホン　MDR-AV305
AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル
VMC-AVM250
接続ケーブルなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- WOW、TruSurroundと (●) 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
WOW、TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- このテレビは米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

サ行

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーを内蔵しています。

地上デジタル放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のＨＤＴＶ（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。地上デジタル放送を受信するには、別途地上デジタル放送に対応したデジタルチューナーが必要となります。

デジタルCS放送

スカイパーフェクTV!のことです。通信衛星を使ったCS放送の一種で１００度CSデジタル放送ではありません。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ヤ行

有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

数字・アルファベット順

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーやBS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

D端子

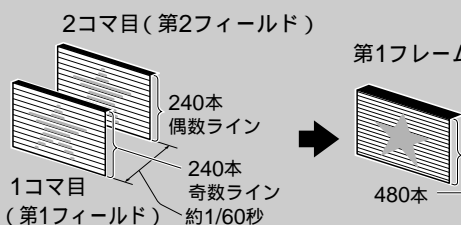
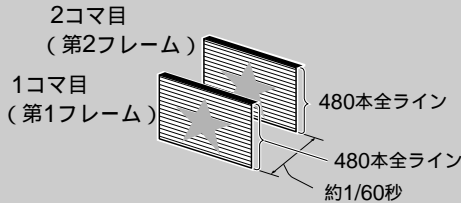
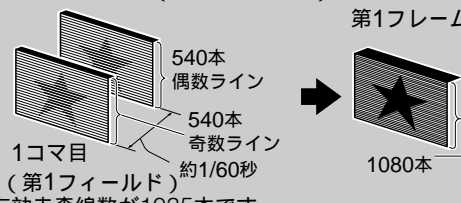
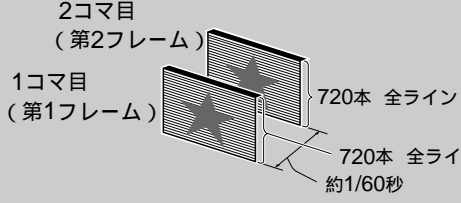
ＢＳデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。BSデジタル放送受信アダプターなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。このテレビにはD1入力端子が付いています。

- D1端子:525i（480i）の信号に対応
- D2端子:525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子:525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子:525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式（ビデオID-1システム）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムのなまえです。このテレビはID-1方式に対応しています。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

S1方式（S1映像）

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムのなまえです。このテレビはS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、テレビのS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

映像信号フォーマットについて

日本国内の映像信号フォーマット（画像方式）は、走査線数と走査方式によって、以下の4種類があります。

映像信号フォーマット	映像の種類	対応するD端子
525i（480i） 525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。通常のテレビ放送（VHF/UHF）の信号です。 2コマ目（第2フィールド）／1コマ目（第1フィールド）／240本 偶数ライン／240本 奇数ライン 約1/60秒／第1フレーム 480本	● 通常のテレビ放送（VHF/UHF） ● ビデオ1～3入力の映像 ● AVマルチ入力の映像 ● コンポーネント1、2入力* の以下の映像 – デジタル標準テレビ放送（525i） – デジタルCS放送 – DVDプレーヤーの映像	**D1端子** D2端子 D3端子 D4端子
525p（480p） 525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。 2コマ目（第2フレーム）／1コマ目（第1フレーム）／480本全ライン／480本全ライン 約1/60秒		D2端子 D3端子 D4端子
1125i（1080i） 1125本（1080本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。 2コマ目（第2フィールド）／1コマ目（第1フィールド）／540本 偶数ライン／540本 奇数ライン 約1/60秒／第1フレーム 1080本 現行のハイビジョン放送は、有効走査線数が1035本です。		D3端子 D4端子
750p（720p） 750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。このテレビでは、750pの映像信号を1125iの映像信号に変換します。 2コマ目（第2フレーム）／1コマ目（第1フレーム）／720本 全ライン／720本 全ライン 約1/60秒		D4端子

- （　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。また、iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。

- つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。特に、デジタルチューナーの出力設定については、デジタルチューナー側の取扱説明書をご覧ください。

* コンポーネント1、2入力はD端子からの映像です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

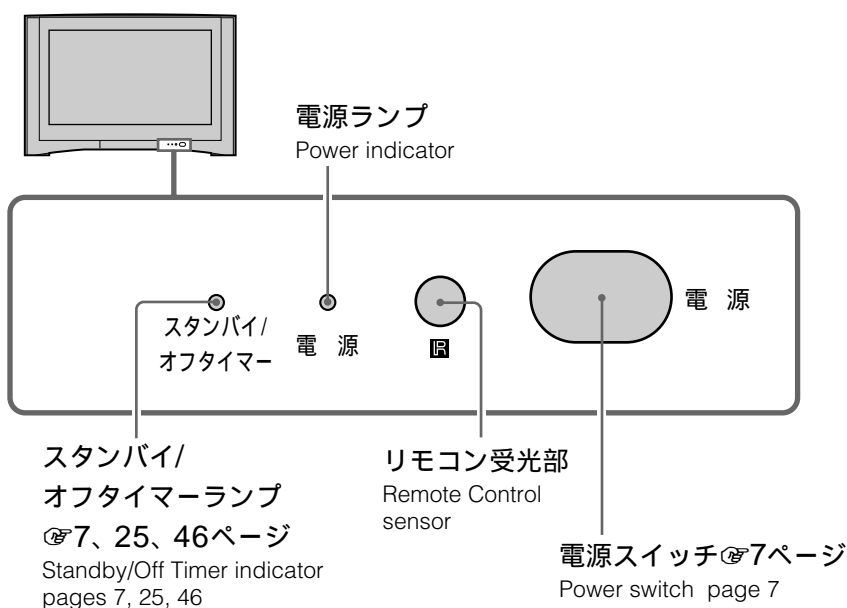
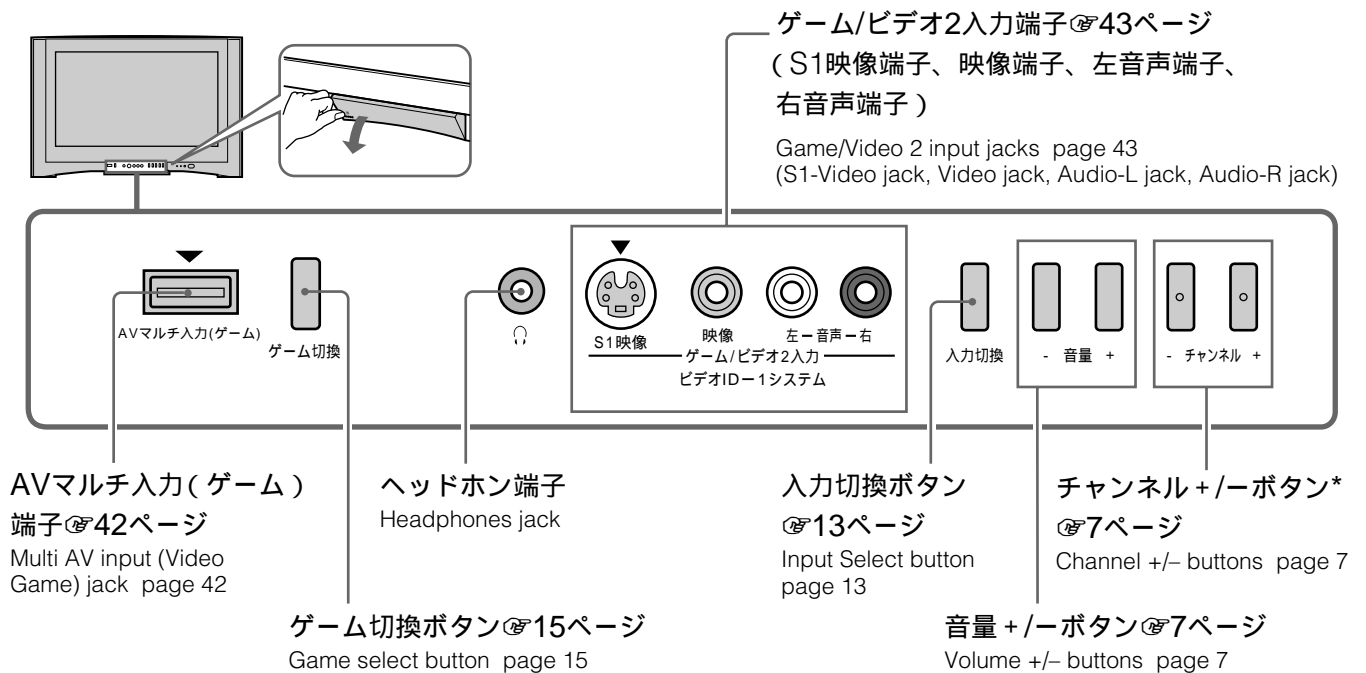
有効走査線数

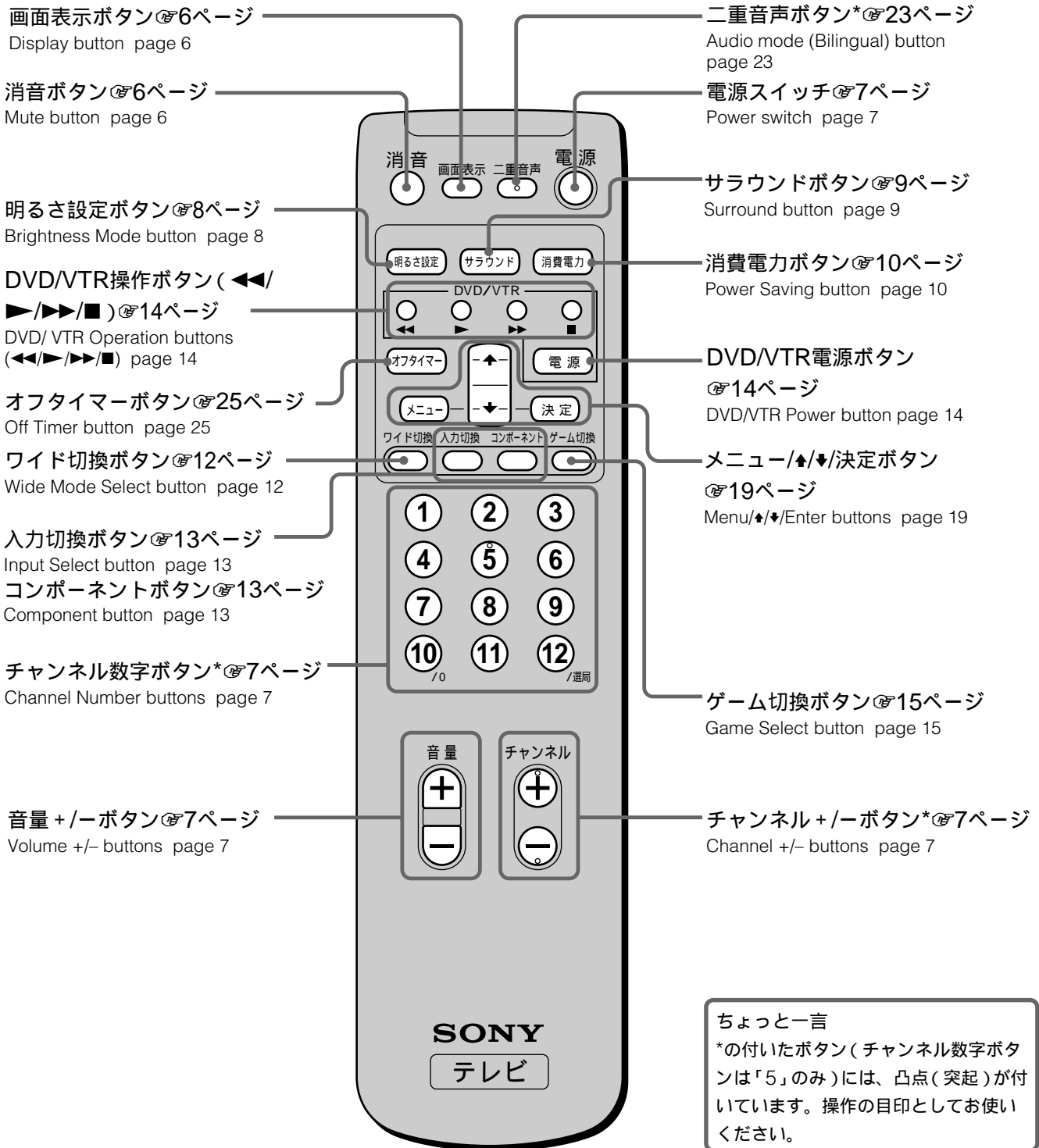
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。従来のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン（HD）放送では、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

D端子（コンポーネント1、2入力）

地上・BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
このテレビにはD1入力端子（コンポーネント1、2入力）が付いています。

各部のなまえ/
Identifying parts and controls

テレビ前面/TV Front Panel

ちょっと一言
*の付いたボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

リモコン/Remote Control

ちょっと一言
*の付いたボタン（チャンネル数字ボタンは「5」のみ）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

その他

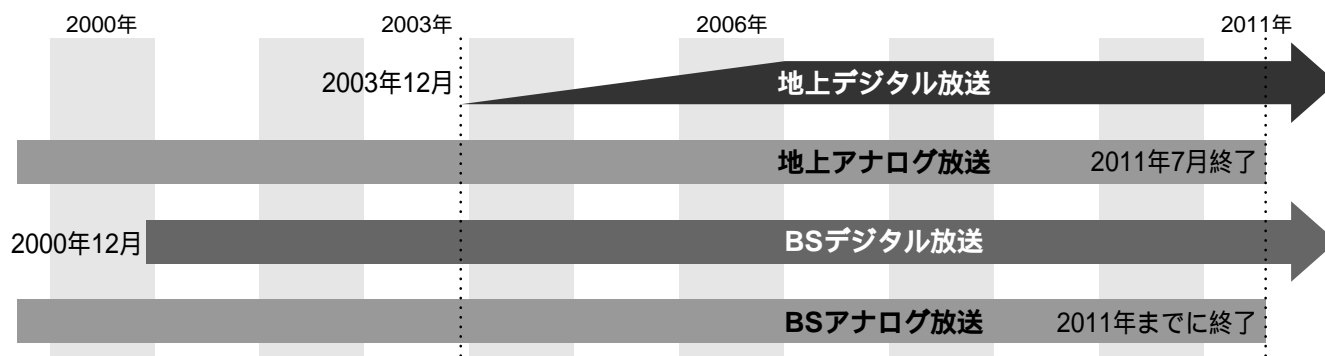
メニュー一覧

- メニューは▲/▼で選び、決定ボタンで決定します。
- ▶（カーソル）のある部分、または赤で表示される部分が選ばれています。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

アナログ放送からデジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

※ 2003年9月現在の情報です。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や横縦比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。
なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

※ デジタル放送チャンネルに対応した受信アンテナが必要です。
※ ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信するには専用のホームターミナル（アダプター）が必要になる場合があります。詳しくは、加入しているCATV会社にお問い合わせください。

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Malaysia

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管方式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。